



\ みんなの声がミライをつくる /



ぐんまこどもモニター

2025年度 第1回アンケート 報告書

2025年12月

群馬県生活こども課

調査概要



調査目的

- こどもや若者の意見を聴き、これから群馬県が進めるこども向けの取組に生かします。

調査期間

令和7年8月18日（月）～9月1日（月）

調査対象

ぐんまこどもモニター 298名

調査方法

WEB（フォーム）による回答

回答数・回答率

294名、98.7%

		第1回アンケート回答		
年齢区分	モニター数	人数	構成比	率
合計	298名	294名	—	98.7%
小学生 (4～6年生)	106名	104名	35.4%	98.1%
中学生	103名	103名	35.0%	100.0%
高校生世代	43名	41名	13.9%	95.3%
大学生世代	46名	46名	15.6%	100.0%

アンケートの質問

【こどもの権利について】



1. 「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を大切にするためのルールがあることを知っていますか？
2. 知ったきっかけは何ですか？
3. 「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を大切にするためのルール（「子どもの権利条約」や「こども基本法」）についてどれくらい知っていますか？

【文化芸術活動について】



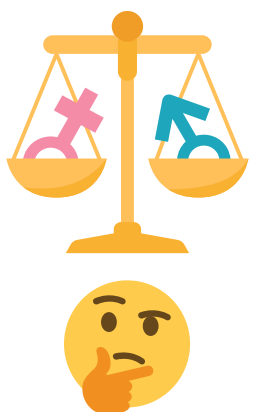
4. 文化芸術活動の中で、あなたがとくに興味のあるものを2つ選んでください。
5. スマホやタブレット、テレビ、パソコンなどを使う文化芸術活動で、この1年であなたがしたものすべてを選んでください。
6. 外で体を使ったり、体験したりする文化芸術活動で、この1年であなたがしたものすべてを選んでください。
7. この1年で、あなたがしたり、見たりした文化芸術活動の中で、深く心にのこったことや、とても感動したことがあれば、その内容を教えてください。

【料理・掃除・洗濯などに関すること】



8. 家ではだれが料理・掃除・洗濯などをしていますか？
9. あなたは、料理・掃除・洗濯などを、ふだんどのようにしていますか？

【男の子・女の子などの性別に関すること】



10. 今まで、次のようなことに対して、「男らしさ」や「女らしさ」について言われたことはありますか？
11. 言われたことがある人は、そのときの気持ちを教えてください。
12. それは、誰に言われましたか？
13. 男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、特に大切だと思うことを3つまで選んでください。
14. 男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、自分でできそうなことや、みんなのできることがあれば、自由に書いてください。

アンケートの質問

【働くことについて】



15. 群馬県内で働くとしたら、次の選択肢のうち、何に魅力を感じますか？
16. 群馬県内で働く場合に、課題だと思うことは何ですか？
17. 群馬県内に増えて欲しい仕事はありますか？
18. どのような職場環境であれば、群馬県内に就職したいと思いますか？

【みんなで話してみたいこと・きいてみたいこと】



19. 年齢の近いこども・若者同士で話し合ってみたいことがあれば、自由に書いてください。
20. 大人にきいてみたいことや、伝えたい意見があれば、自由に書いてください。

【こどもの権利について】

質問1

「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を
大切にするためのルールがあることを知っていますか？

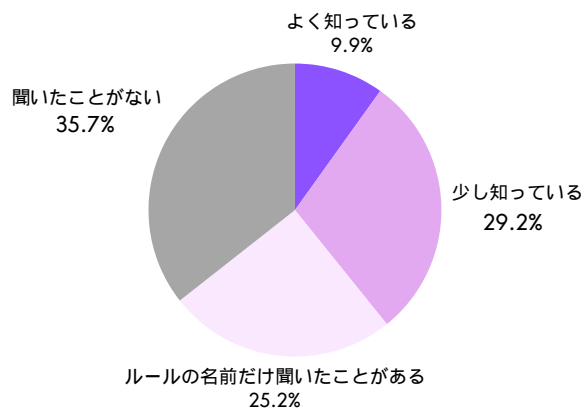
※たとえば、「子どもの権利条約」「こども基本法」があります。

- 全体の認知度※は64.3%で、世代別では以下の円グラフのような回答になりました。
- 世代別の認知度は高い順に、高校生世代、大学生世代、中学生、小学生でした。
- 小学生では「聞いたことがない」と答えた人が54.8%で半数以上を占めました。
- 「よく知っている」「少し知っている」と答えた割合は、世代が上がるにつれて高くなる結果になりました。
- 特に大学生世代では「よく知っている」と答えた割合が他の世代と比べて高く、30.4%となりました。

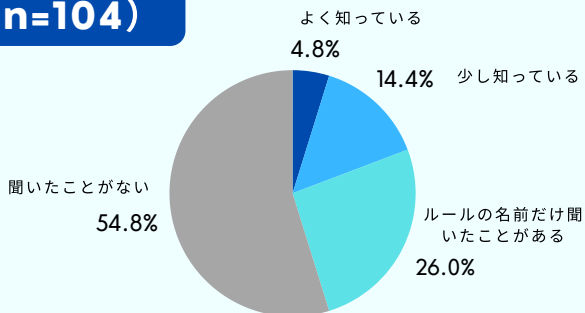
※「認知度」は「1.よく知っている」「2.少し知っている」「3.ルールの名前だけ聞いたことがある」の合計

全体の認知度

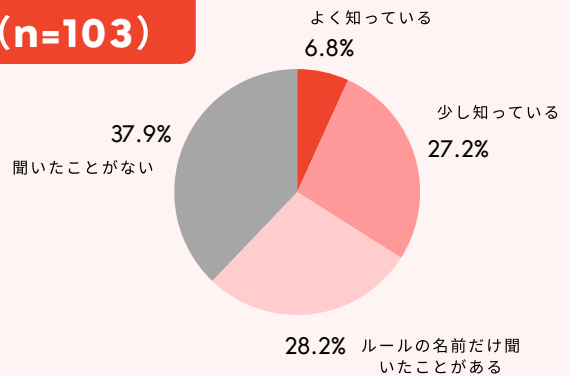
64.3% (n=294)



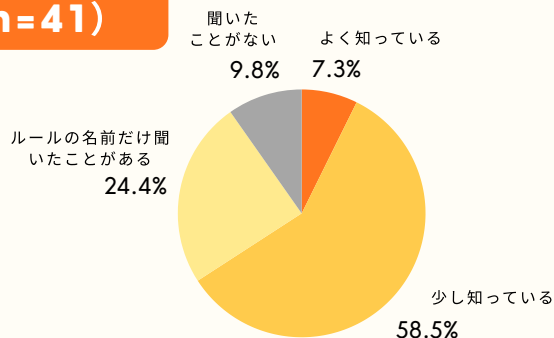
小学生 (n=104)



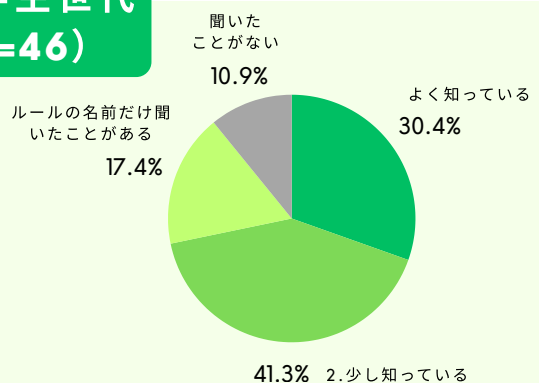
中学生 (n=103)



高校生世代 (n=41)



大学生世代 (n=46)



【こどもの権利について】

質問2

【質問1で1～3を選んだ人が回答】

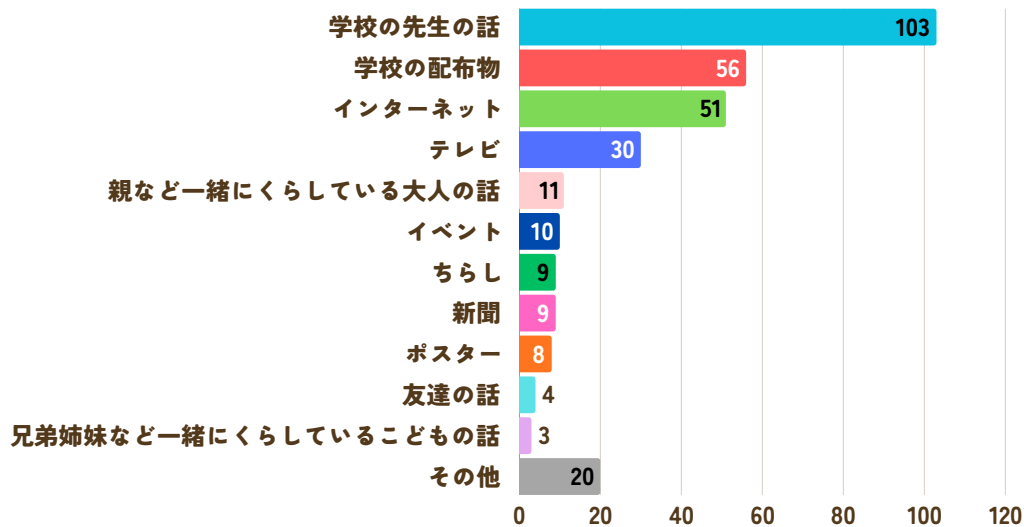
知ったきっかけは何ですか？ [いくつでも選べます]

- ・ 全体では回答の多い順に「学校の先生の話」「学校の配布物」「インターネット」でした。
- ・ 小学生は他の世代と比べて「テレビ」と答えた人の割合が高く22.2%でした。
- ・ 高校生世代では「学校の先生の話」と答えた人の割合が高く47.5%でした。
- ・ 「その他」では「本」やこの「こどもモニター」の活動などが上がりました。

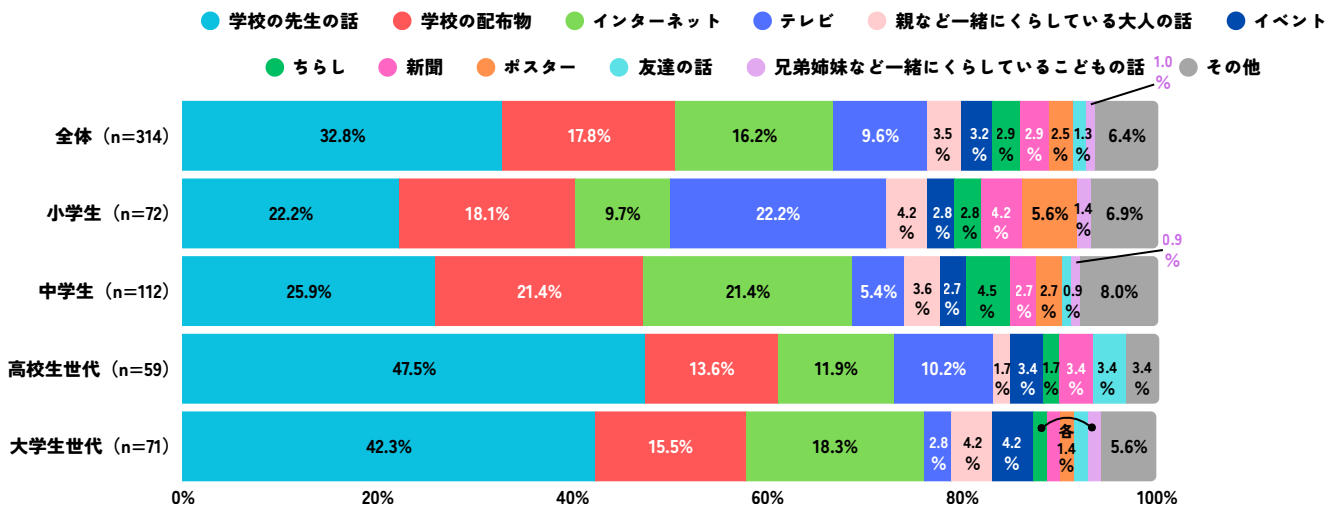
【回答項目】

1.学校の先生の話 2.親など一緒にくらしている大人の話 3.兄弟姉妹など一緒にくらしているこどもの話 4.友達の話
5.学校の配布物（お便りやデータ配信） 6.インターネット 7.テレビ 8.ポスター 9.ちらし 10.新聞 11.イベント 12.その他

■ 全体合計数（n=314）



■ 年次別パーセント

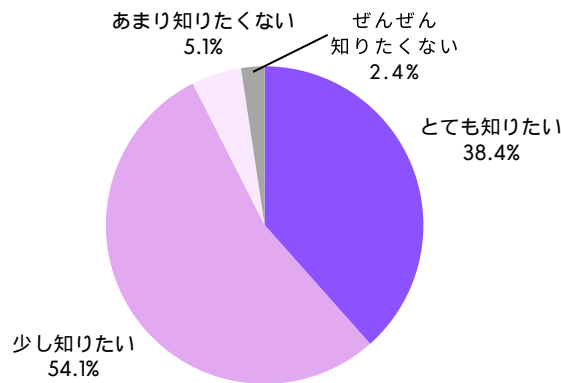


【こどもの権利について】

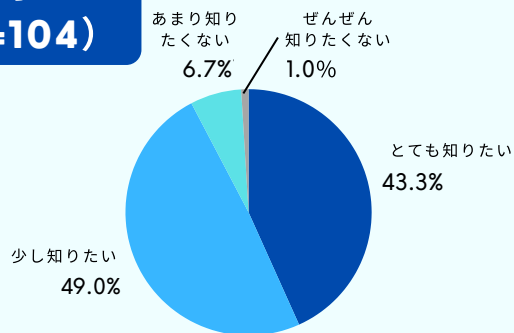
質問3 「こどもや若者が、自分の気持ちや考えを伝えること」を大切にするためのルール（「子どもの権利条約」や「こども基本法」）についてどれくらい知りたいですか？

- 全体では「とても知りたい」「少し知りたい」と答えた人が、9割を超えました。
- 小学生、中学生、高校生世代では「少し知りたい」と答えた割合が最も高く、大学生については「とても知りたい」と答えた割合が最も高く半数以上となりました。
- 「あまり知りたくない」「ぜんぜん知りたくない」と答えた人の割合は、どの世代も10%未満でした。

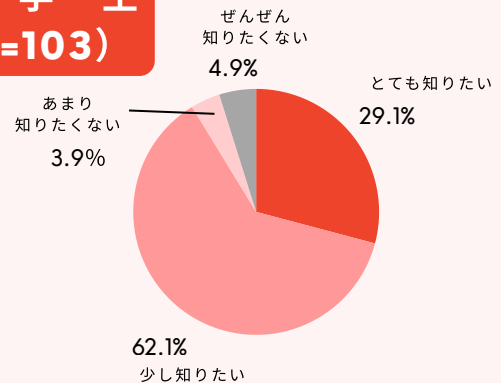
全体（n=294）



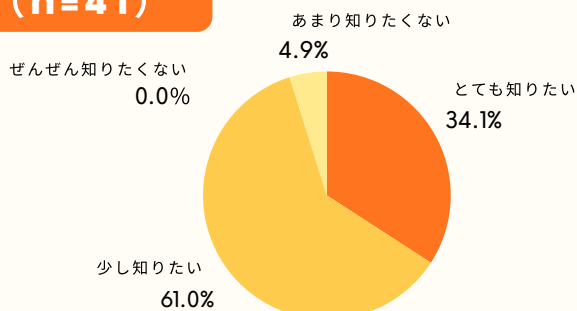
小学生（n=104）



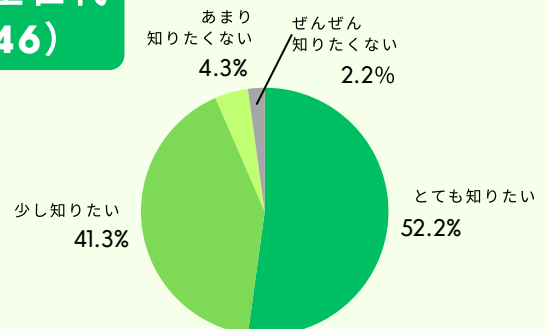
中学生（n=103）



高校生世代（n=41）



大学生世代（n=46）



【文化芸術活動について】

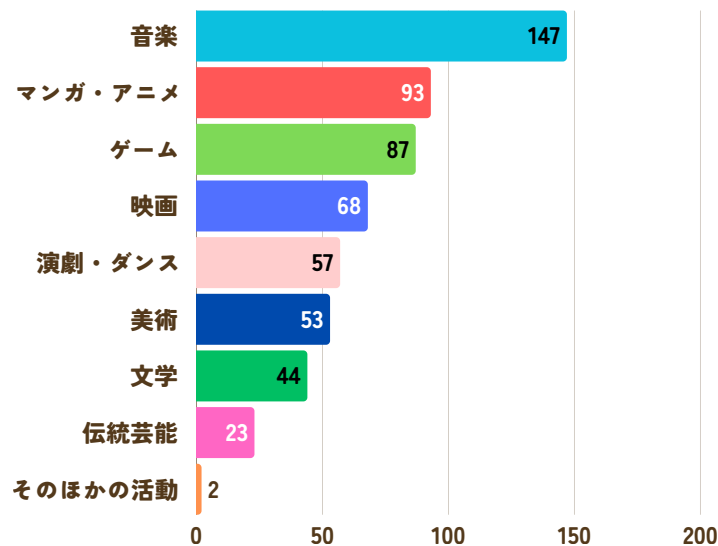
質問4 文化芸術活動の中で、あなたがとくに興味のあるものを2つ選んでください。

- ・全体では回答の多い順に「音楽」「マンガ・アニメ」「ゲーム」でした。
- ・各世代で「音楽」が一番多く、世代が上がるにつれて割合が高くなりました。
- ・「ゲーム」を選んだ人の割合は、世代が上がるにつれて低くなりました。
- ・大学生世代は、他の世代と比べて「映画」を選んだ人の割合が2倍程度高く、「ゲーム」を選んだ人の割合はとても低い結果になりました。

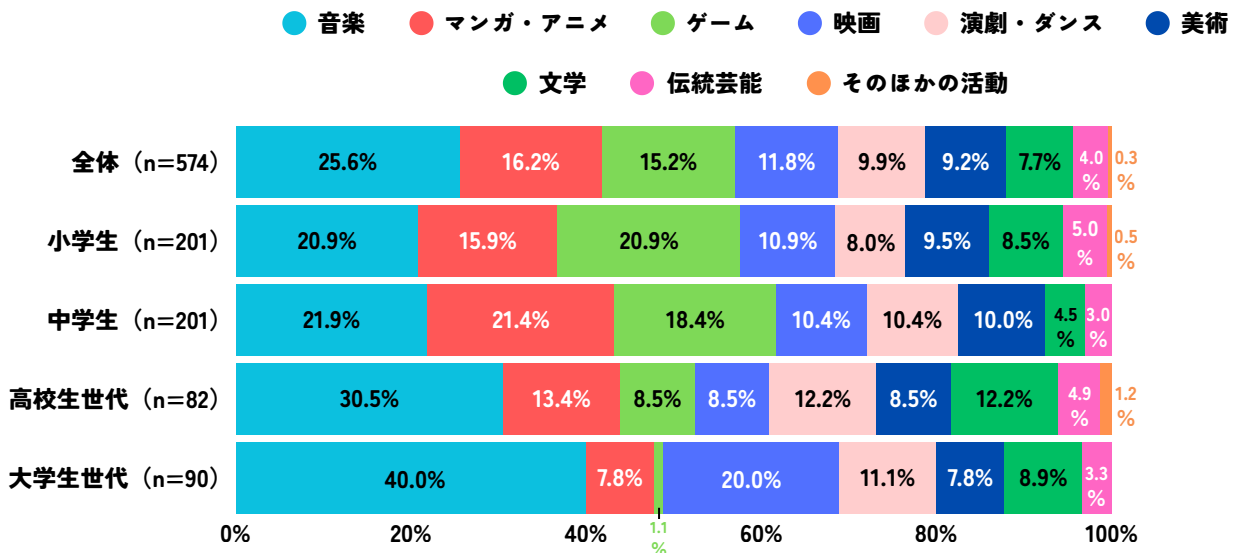
【回答項目】

1.音楽（歌を聞いたり、歌ったり、楽器を演奏したりすること） 2.演劇・ダンス（お芝居や舞台をみることや、みんなで演じること） 3.美術（絵をかいたり、ものを作ったり、作品をみて楽しむこと） 4.映画（映画をみること） 5.文学（本を読んだり、自分で書いたりすること） 6.マンガ・アニメ（マンガを読んだり、アニメをみたりすること） 7.ゲーム（テレビやスマホでゲームをしたり、自分でゲームを作ったりすること） 8.伝統芸能（歌舞伎、能、落語、華道、茶道、書道などをみたり、したりすること） 9.その他の活動 10.特にな

■ 全体合計数（n=574）



■ 年次別パーセント



【文化芸術活動について】

質問5

スマホやタブレット、テレビ、パソコンなどを使う文化芸術活動で、この1年であなたがしたものすべてを選んでください。【いくつでも選べます】

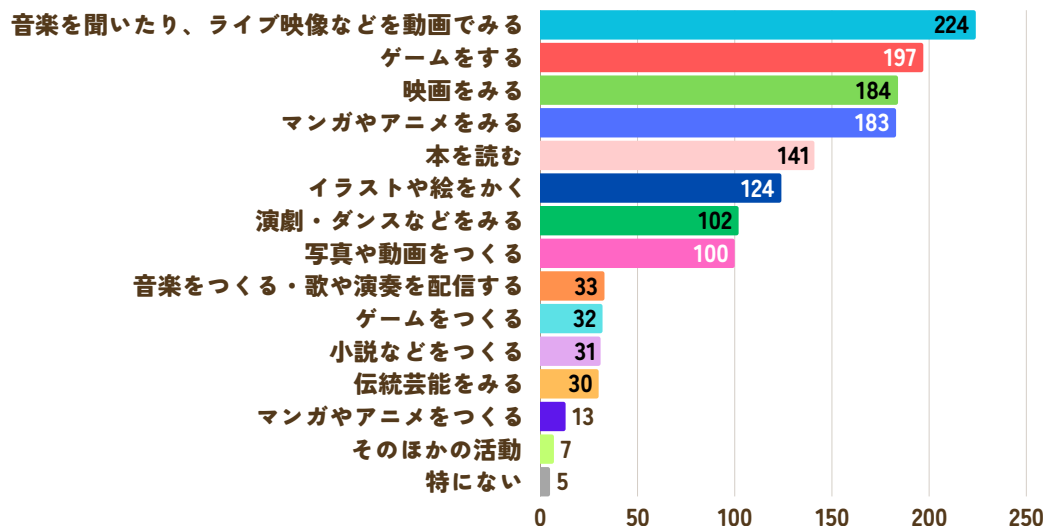
※「習い事でしたもの」は含め、「学校の授業やクラブ活動などでしたもの」は除いて回答してください。

- ・ 全体では回答の多い順に「音楽を聞いたり、ライブ映像などを動画でみる」「ゲームをする」「映画をみる」「マンガやアニメをみる」でした。
- ・ 世代が上がるにつれて「音楽を聞いたり、ライブ映像などを動画でみる」「映画をみる」「写真や動画をつくる」の割合は高く、「マンガやアニメをみる」「イラストや絵をかく」の割合は低くなりました。

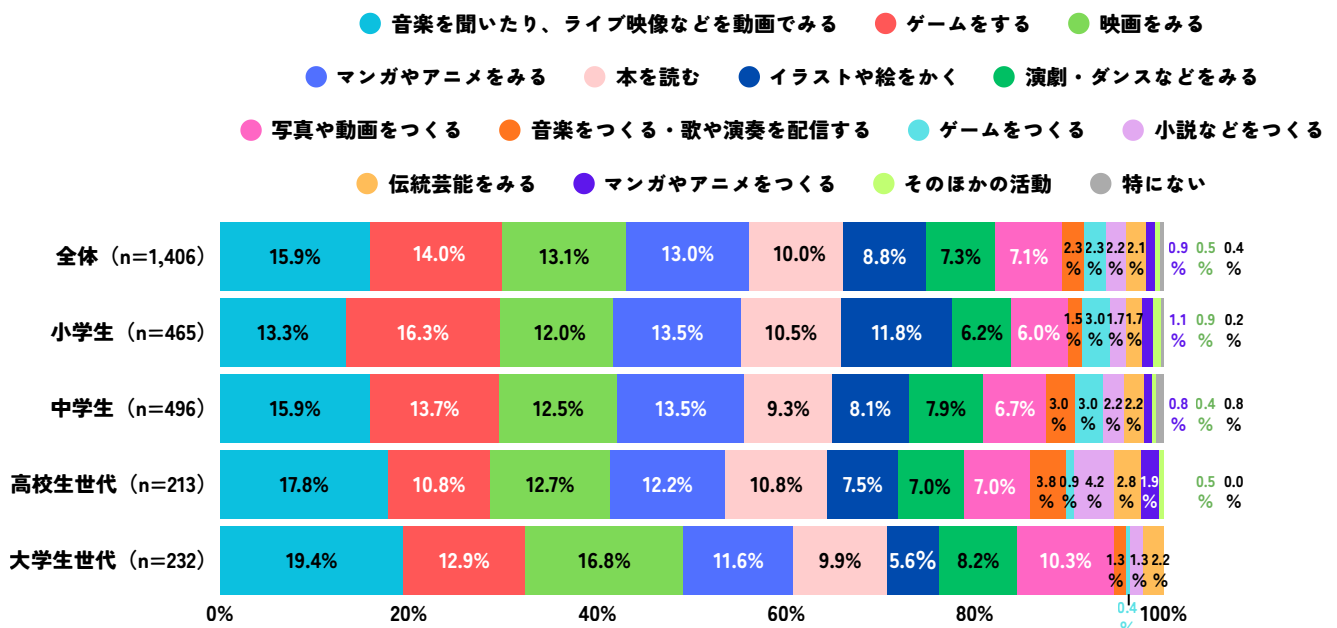
【回答項目】

1.音楽を聞いたり、ライブ映像などを動画でみる 2.音楽をつくる・歌や演奏を配信する 3.演劇・ダンスなどをみる 4.イラストや絵をかく 5.映画をみる 6.写真や動画をつくる 7.本を読む 8.小説などをつくる 9.マンガやアニメをみる 10.マンガやアニメをつくる 11.ゲームをする 12.ゲームをつくる 13.伝統芸能（歌舞伎、能、落語など）をみる 14.そのほかの活動 15.特にな

■ 全体合計数（n=1,406）



■ 年次別パーセント



【文化芸術活動について】

質問6

外で体を使ったり、体験したりする文化芸術活動で、この1年であなたがしたものすべてを選んでください。
[いくつでも選べます]

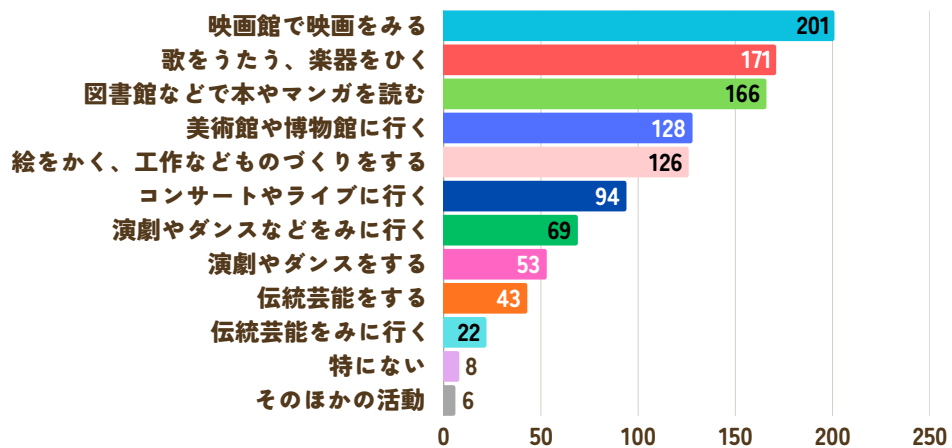
※「習い事でしたもの」は含め「学校の授業やクラブ活動などでしたもの」は除いて回答してください。

- ・ 全体では回答の多い順に「映画館で映画をみる」「歌をうたう・楽器をひく」「図書館などで本やマンガを読む」でした。
- ・ 小学生は他の世代と比べて「絵をかく、工作などものづくりをする」の割合が高く16.7%でした。
- ・ 世代が上がるにつれて「コンサートやライブに行く」の割合が高くなり、大学生世代は17.9%でした。

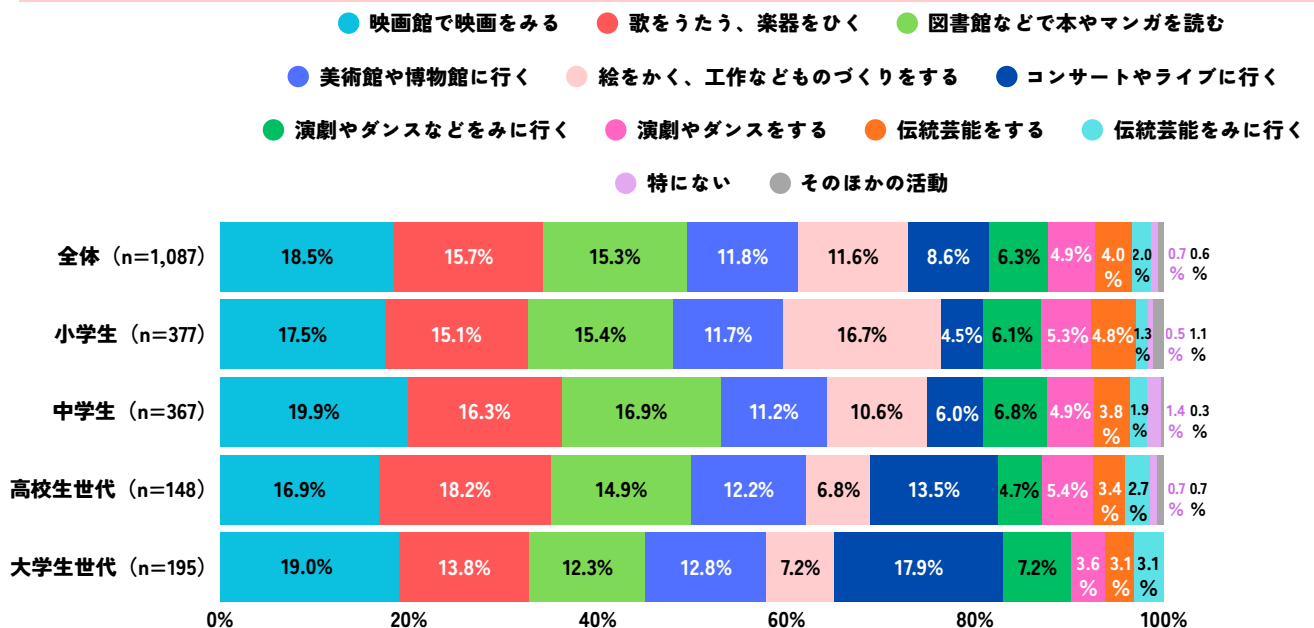
[回答項目]

1.コンサートやライブに行く 2.歌をうたう、楽器をひく 3.演劇やダンスなどをみに行く 4.演劇やダンスをする 5.美術館や博物館に行く 6.絵をかく、工作などものづくりをする 7.映画館で映画をみる 8.図書館などで本やマンガを読む 9.伝統芸能（歌舞伎、能、落語など）をみに行く 10.伝統芸能（茶道、華道、書道など）をする 11.そのほかの活動 12.特にない

■ 全体合計数（n=1,087）



■ 年次別パーセント



【文化芸術活動について】

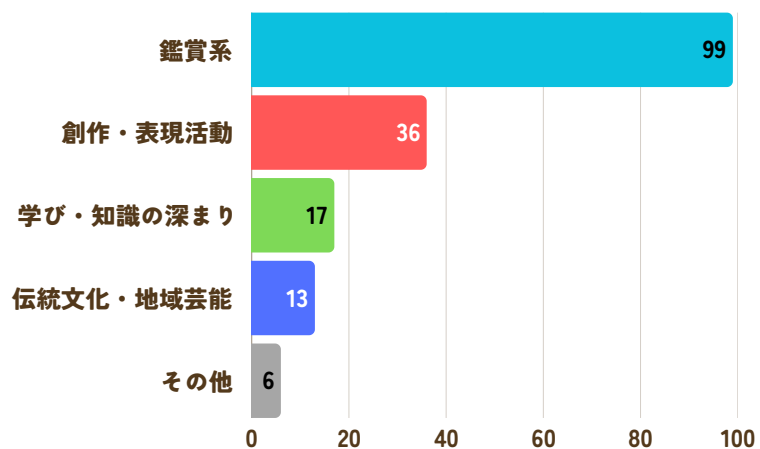
質問7

この1年で、あなたがしたり、見たりした文化芸術活動の中で、深く心にのこったことや、とても感動したことがあれば、その内容を教えてください。

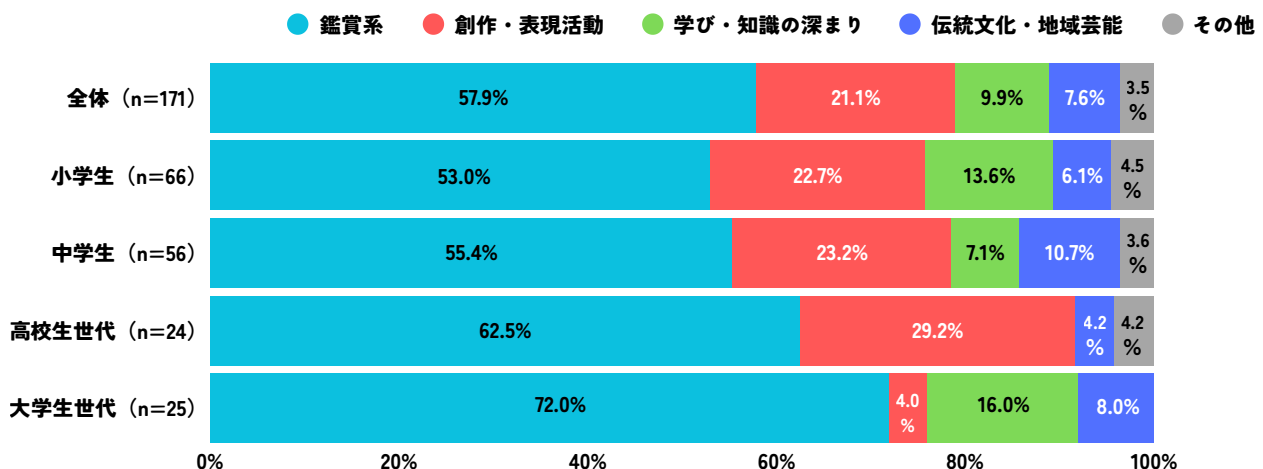
200字以内

- ・ 全体では「鑑賞系（例えば、美術・音楽・映画・舞台などを見た経験）」「創作・表現活動（例えば、絵を描いたり合唱団への参加など）」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 「鑑賞系」に関するコメントの割合は全ての世代で半数以上を占め、世代が上がるにつれて高くなりました。
- ・ 「創作・表現活動」に関するコメントは高校生世代で割合が高く、一方で大学生世代では低くなりました。

■ コメントの全体合計数（n=171）



■ コメントの種類別パーセント（年次別）



【文化芸術活動について】

質問7

この1年で、あなたがしたり、見たりした文化芸術活動の中で、深く心にのこったことや、とても感動したことがあれば、その内容を教えてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

鑑賞系（美術・音楽・映画・舞台など）

- ・ピーターパンのミュージカルを見に行った時、女の人が男の人役をやっててすごいと思った。（小学生）
- ・美術館のゴッホ展での新しい描き方を見て、我が道を進むことは素晴らしいと感動しました。（小学生）
- ・ライブのある曲の時に、演出のかわりに見に来た人に「スマホのライトをつけてください」と言われてみんなが一斉にライトをつけた景色が凄く綺麗で印象に残っている。（中学生）
- ・学校で行った移動音楽室に行ってオーケストラの音楽を間近で聴いたこと。たくさんの楽器を使って演奏していたところが深く心に残った。（中学生）
- ・高校の授業の一環として、演劇を見に行きました。普段なかなかできない経験ができて、とても楽しかったです。（高校生世代）
- ・美術館で、視覚以外でも楽しめる展示があったことが興味深かった。（高校生世代）
- ・推しのライブに行きました！小学生の時から大好きな人なので、曲を聴くとその当時の気持ちやこの曲聴いてた時こんな事があったなあという懐かしい気持ちも思い出していました！（大学生世代）
- ・映画館で4DXのF1を見たこと。自分がその映画の中にいるような、実際に運転しているかのような躍動感を初めて感じられました。（大学生世代）

創作・表現活動（絵画・合唱・書道・動画作成など）

- ・タブレットで絵を描いて1年前の絵と比べて上手くなっていると感じられた。（小学生）
- ・合唱を通して色々な人を笑顔にさせたり、歌の内容にもよるかもしれないけれど、感動させたりすることがすごく嬉しかったし、心に残っています。（中学生）
- ・市の少年少女合唱団の私にとって最後の定期演奏会の時、これは芸術そのものに加えそれを行って来た時間も相まっただけの感動だと思うので質問の趣旨とずれるかもしれませんが、改めてお客様が聴きにきてくださることや、仲間や先生方と一緒に歌えることの楽しさとありがたさを感じた。（高校生世代）
- ・大学で所属しているハンドベル部と合唱部のコンサート。指揮を振った経験は人に芸術を届けるための奏者との意思疎通が大変だったのが印象に残っている。（大学生世代）

学び・知識の深まり

- ・「はにわ」の博物館に行ってきました。「はにわ」は、色々な種類があり、中には大型テレビ3個分の高さの「はにわ」が、いました。私は、「歴史がたくさんつまっているな」「こんな、はにわもあるんだ??」と、おどろかされました。私は、この機会を参考に「はにわ博士」になりたいです。（小学生）
- ・映画の影響で、その場所などを調べたり、実際に行ったりした。（中学生）
- ・広島原爆前後の現状を伝える音楽劇を見にいったこと。マリンバの演奏に乗せた、演技力の高い劇に見入った。劇を通して歴史について深く学べたのも良かった。（大学生世代）
- ・新潟であった大地の芸術祭が感動しました。最近では芸術の中にSDGsなどを組み込むのが当たり前になっていて、環境やその場所や地形を生かしていて、考えさせられることが多かったです。（大学生世代）

【文化芸術活動について】

質問7

この1年で、あなたがしたり、見たりした文化芸術活動の中で、深く心にのこったことや、とても感動したことがあれば、その内容を教えてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

伝統文化・地域芸能

- 僕は獅子舞をやっているんですけど、そのおかげで他の地区の獅子舞も見ることがあって、そこでこんなに個性があるんだな～と感心しました。（小学生）
- 学校の活動で三味線の演奏を聴いた。三味線だから古風の音楽だけかと思ったら今のJポップやアニソンをカバーしていて技術の高さに感動した。（中学生）
- 母と歌舞伎を題材とした映画をみに映画館へ行きました。伝統芸能を引き継ぐという事は小さい頃からたくさんの方の努力をして仕上がっているという事がわかりました。歌舞伎が美しいという事が感じられました。（高校生世代）※歌舞伎を題材とした当該映画の鑑賞は複数名からコメントがありました。
- 今年初めて歌舞伎を見に行きました。私の好きなアイドルの子が出演しており、現代的なダンスと伝統的な歌舞伎の融合した舞台上、初めて生で歌舞伎と三味線等の楽器を聴き、日本の伝統文化を感じられ感動しました。（大学生世代）

その他

- マレーシア渡航の時に観た様々な国のダンス。みたのもそうだし参加もして、面白くて関心が深まったのもそうだけど、現地の人たちと少し距離が縮まったような気がして嬉しかった。（高校生世代）

【料理・掃除・洗濯などに関すること】

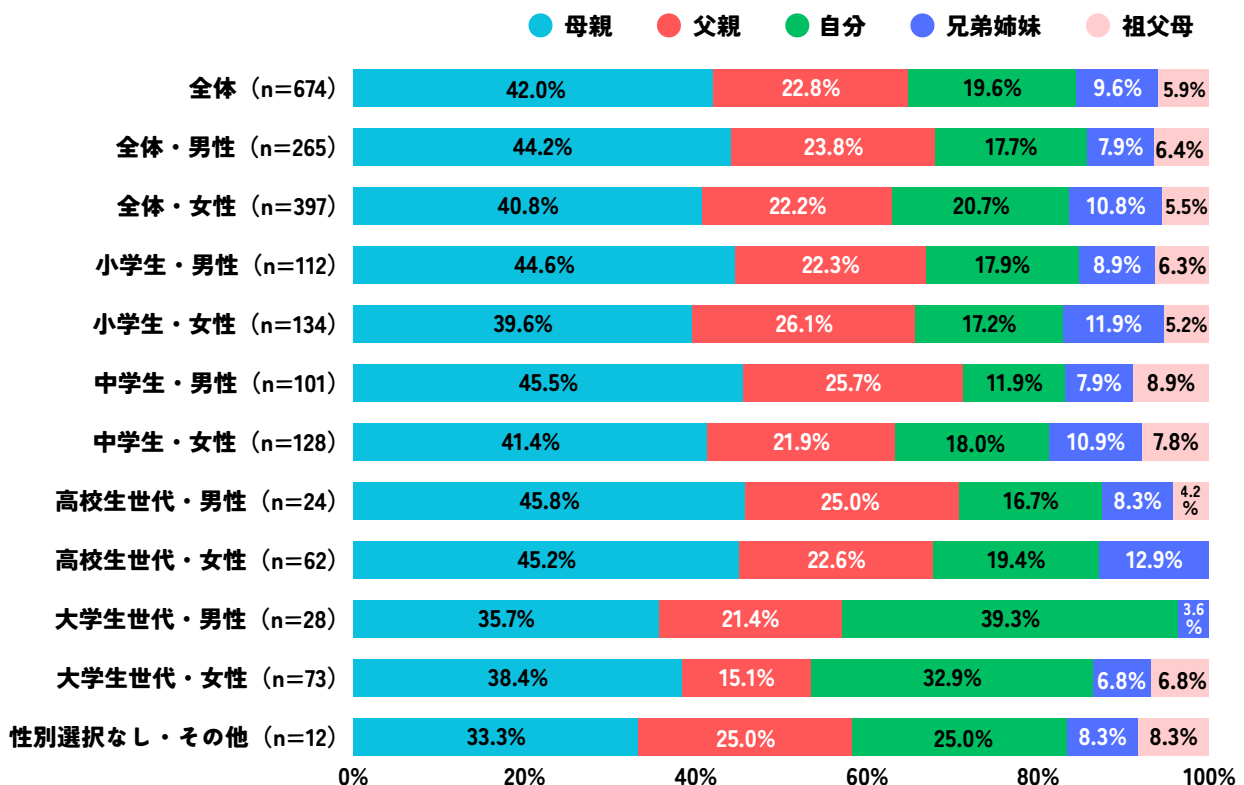
質問8 家ではだれが料理・掃除・洗濯などをしていますか？【いくつでも選べます】

- ・ 全体では回答の多い順に「母親」「父親」「自分」「兄弟姉妹」「祖父母」でした。
- ・ 全世代において「母親」の割合は35%以上でした。
- ・ 大学生世代では「自分」の割合が高くなり男女共に30%以上でした。

【回答項目】

1.母親 2.父親 3.兄弟姉妹 4.祖父母 5.自分 6.その他

■ 年次・性別パーセント



【料理・掃除・洗濯などに関すること】

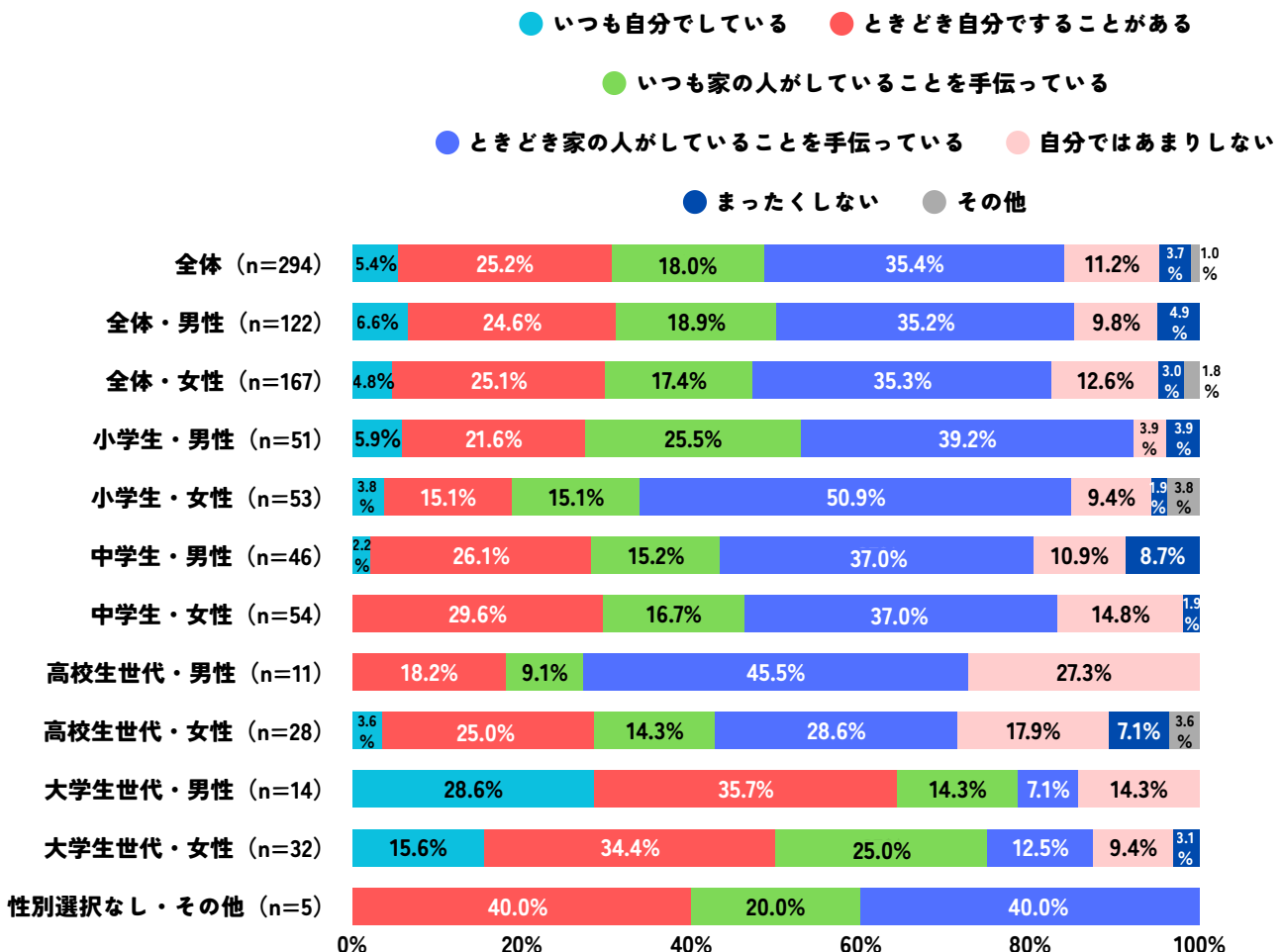
質問9 あなたは、料理・掃除・洗濯などを、ふだんどのようにしていますか？

- ・全体では回答の多い順に「ときどき家の人がしていることを手伝っている」「ときどき自分ですることがある」「いつも家の人がしていることを手伝っている」でした。
- ・全体では自分でしている人と、手伝っている人の全体の合計は80%以上でした。
- ・小学生を男女別で比較すると「いつも家の人がしていることを手伝っている」と答えた割合は、女性よりも男性の方が10%以上高く、一方で「ときどき家の人がしていることを手伝っている」と答えた割合は、男性よりも女性の方が10%以上高く、手伝いの頻度に男女の差があることがわかりました。
- ・大学生世代では男女共に「いつも自分でしている」「ときどき自分ですることがある」の割合が高く50%を超えました。

【回答項目】

1.いつも自分でしている 2.ときどき自分ですることがある 3.いつも家の人がしていることを手伝っている 4.ときどき家の人がしていることを手伝っている 5.自分ではあまりしない 6.まったくしない 7.その他

■ 年次・性別パーセント



【男の子・女の子などの性別に関すること】

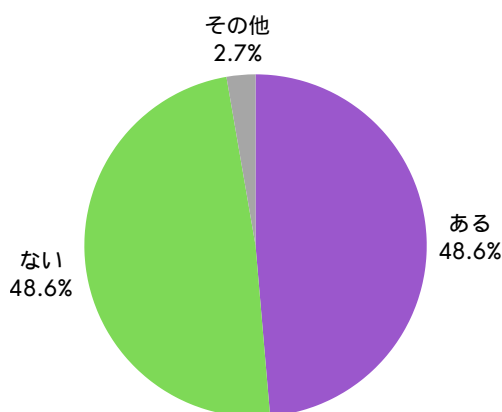
質問10 今まで、次のようなことに対して、「男らしさ」や「女らしさ」について言われたことはありますか？

- 全体では「ある」と答えた人数と「ない」と答えた人数がほぼ同数になりました。
- 世代が上がるにつれ「ある」人の割合が高くなり、高校生世代と大学生世代の約65%以上の人が「ある」と答えました。

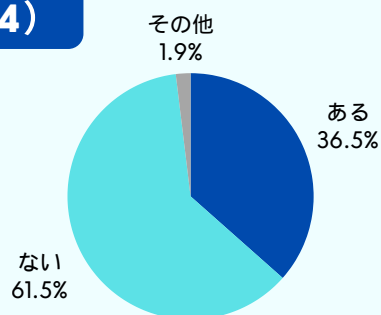
【回答項目】※「ある」は1～5の合計、「ない」は6、その他は7の合計です

1. 普段のふるまいについて（例：「男の子だから泣かないの」「女の子だからおてつだいしなさい」など）
2. 性格について（例：「男の子は元気で活発」「女の子は優しくて静か」など）
3. 得意科目について（例：「男の子は算数、理科、体育などが得意」「女の子は国語、音楽、家庭科などが得意」など）
4. 身だしなみについて（例：「男の子は髪を短く」「女の子はスカートをはく」など）
5. 「やくわりぶんたん」について（例：男の子は力があるから重い物を持つ、女の子は手先がきょうだから細かな作業をするなど）
6. 「男らしさ」「女らしさ」について、言われたことはない
7. その他

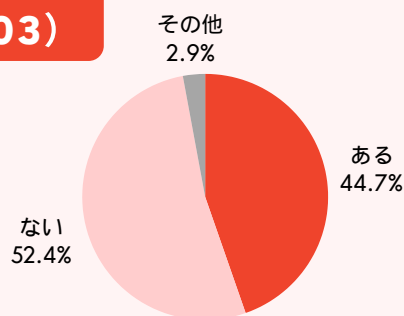
全体（n=294）



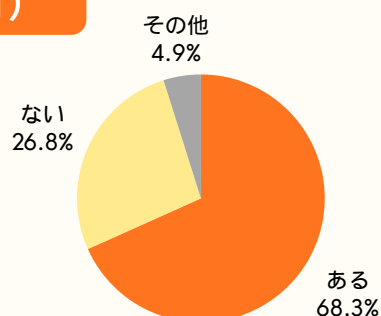
小学生（n=104）



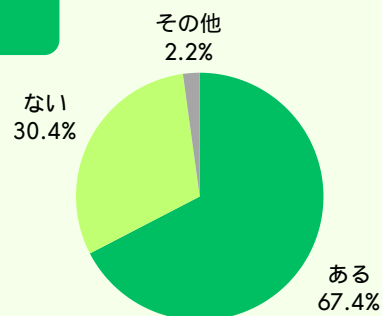
中学生（n=103）



高校生世代（n=41）



大学生世代（n=46）



【男の子・女の子などの性別に関すること】

質問10 今まで、次のようなことに対して、「男らしさ」や「女らしさ」について言われたことはありますか？

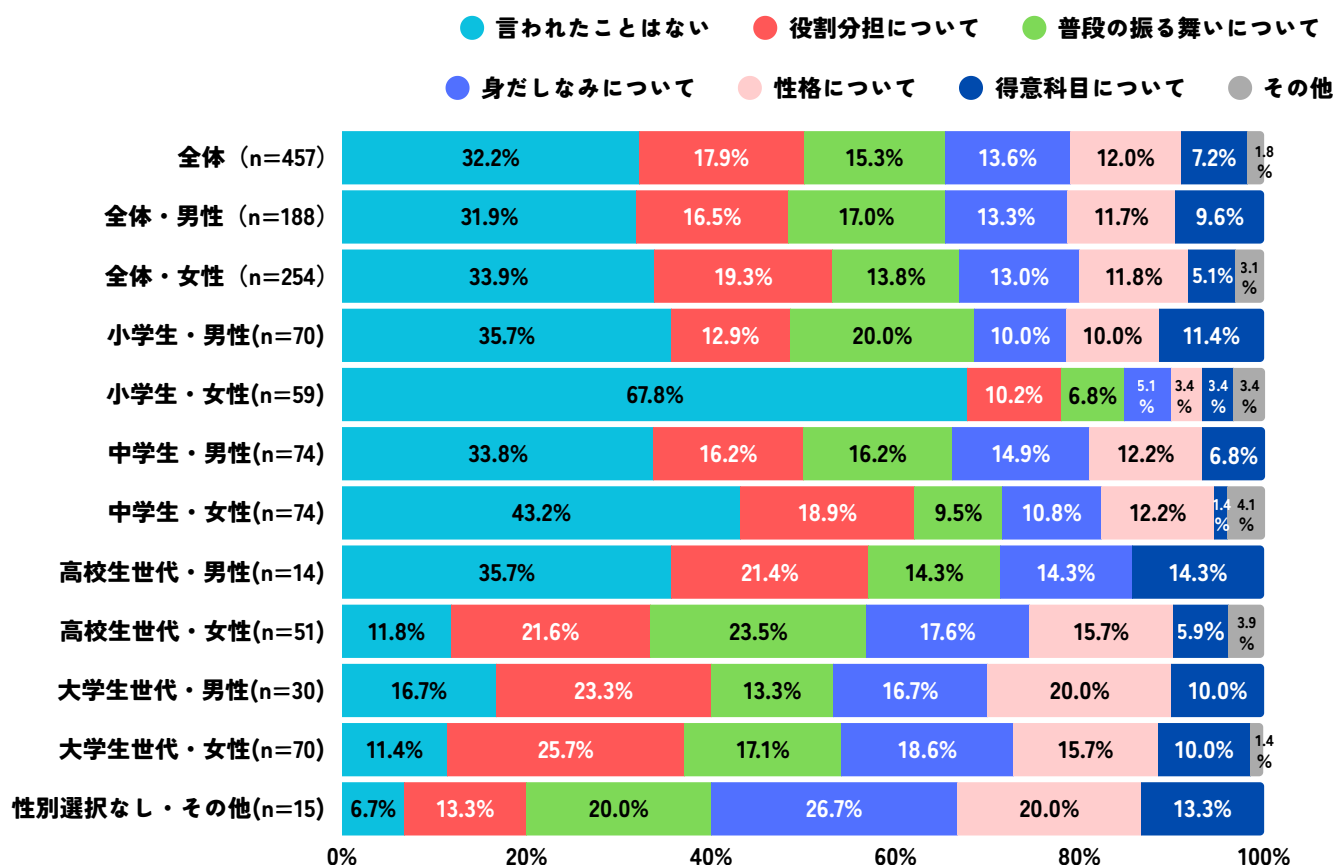
【いくつでも選べます】

- ・ 全体では回答の多い順に「言われたことはない」「役割分担について」「普段の振る舞いについて」でした。
- ・ 世代別で「言われたことはない」の割合が一番高かったのは、小学生女性で67.8%でした。
- ・ 中学生を男女別で比較すると「言われたことはない」と答えた割合は男性よりも女性の方が9.4%高く、男女で差があることがわかりました。

【回答項目】

1. 普段のふるまいについて（例：「男の子だから泣かないの」「女の子だからおてつだいしなさい」など）
2. 性格について（例：「男の子は元気で活発」「女の子は優しく静か」など）
3. 得意科目について（例：「男の子は算数、理科、体育などが得意」「女の子は国語、音楽、家庭科などが得意」など）
4. 身だしなみについて（例：「男の子は髪を短く」「女の子はスカートをはく」など）
5. 「やくわりぶんたん」について（例：男の子は力があるから重い物を持つ、女の子は手先がきょうだから細かな作業をするなど）
6. 「男らしさ」「女らしさ」について、言われたことはない
7. その他

■ 年次・性別パーセント

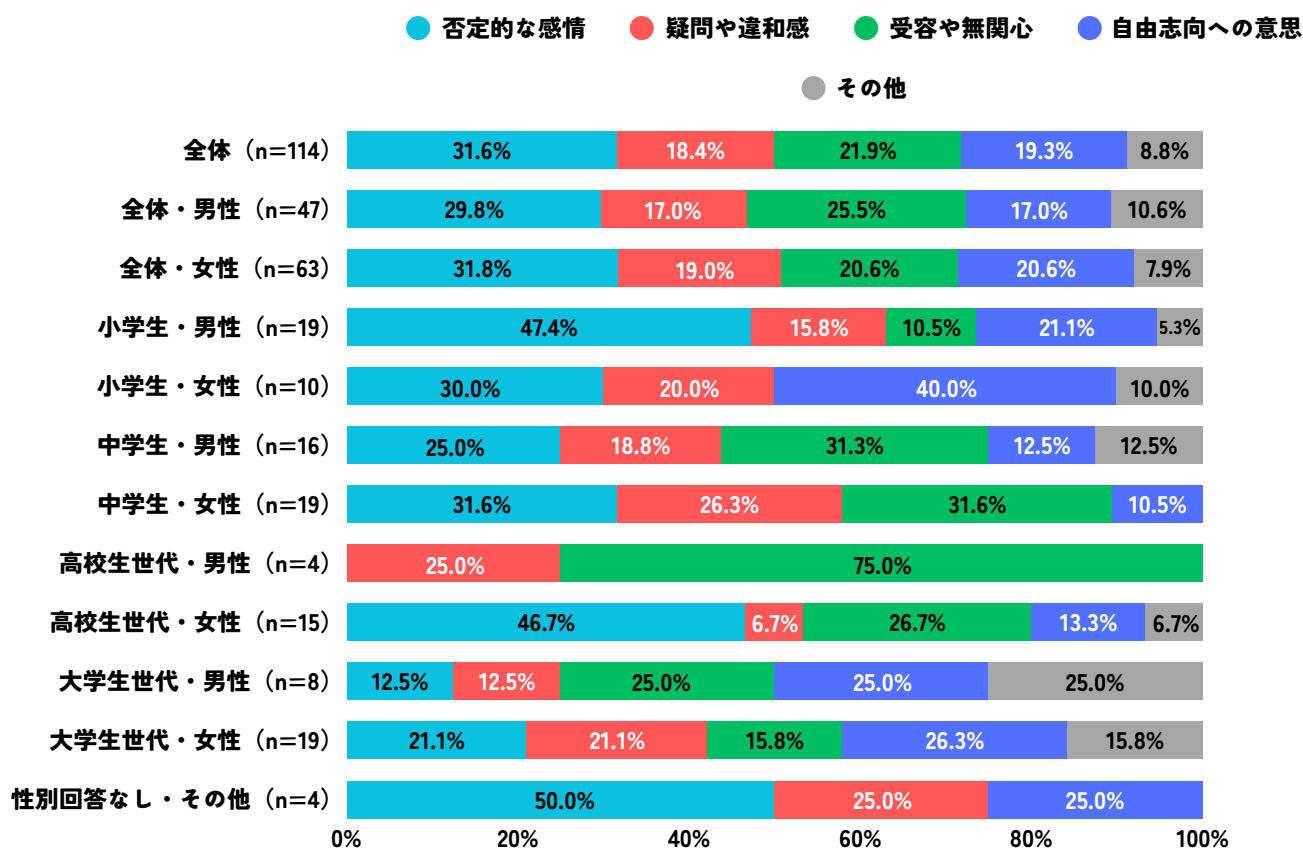


【男の子・女の子などの性別に関すること】

質問11 言われたことがある人は、そのときの気持ちを教えてください。 200字以内

- ・ 全体では「否定的な感情（いやだ、悲しいなど）」「受容や無関心（気にしない、なんとも思わないなど）」「自由志向への意思（自分らしさなど）」に関するコメントが多く見られました。
- ・ 全体の約半数が「否定的な感情」または「疑問や違和感（もやもやするなど）」を含む反応を示しました。
- ・ 小学生女性では、「自由志向への意思」に関する気持ちが一番多くあがりました。
- ・ 中学生では「受容や無関心」へのコメントも一定数ありました。
- ・ 大学生世代では、「自由志向への意思」に関するコメントが多くあがりました。

■ コメントの種類別パーセント（年次・性別）



質問11 言われたことがある人は、そのときの気持ちを教えてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

否定的な感情

- 「男の子なんだから泣かないの。」と保育園でいわれたことがあって、その時、「女の子は泣いていいのかな？」と思って少し疑問に思っすこしかなしかった。（小学生：保育園の先生に言われて）
- 男の子だけでやるんじゃなくて、女の子と男の子が、一緒に遊ぶということを考えてたけど、男の子にやらせて言っても、「俺、男とやる」と言われて悲しかった。（中学生：友達に言われて）
- 女の子らしく可愛い服装を着た方がいいんじゃない？とよく言われて、少し差別を感じてしまう。（高校生世代：母親に言われて）
- 性別における違いはどうしてもあるし生まれるのはしょうがないと分かっているけど、自分の生き方や在り方が制限されているように感じ、少し虚しくなった。（高校生世代：父親や学校の先生に言われて）
- 男だからそれぐらいできないとねと言われた時に、それは女性として、弱いと認識されているようで少し寂しかった。私もできるかもしれないと思った。（大学生世代：友達に言われて）

疑問や違和感

- 女の子だからお手伝いしなさいと言われたときは、「なんで女の子だけ...」と思った。（小学生：祖父母に言われて）
- 女の子だけ髪を短くしたけど回りの目がこわくて、不思議に思った。（中学生：友達に対して）
- 女の子だから国語得意でしょと言われてもやもやした。（高校生世代：父親・母親に言われて）
- 女の子らしくしなさいと言われたけど女の子らしくってなんだろう。（大学生世代：祖父母・学校の先生に言われて）

受容や無関心

- 別に何とも思わなかった。（小学生：父親に言われて）
- 女性だから、男性だから、という差別的なことはよくないが、役割分担という観点では、言われたことも、言ったこともある。でも、それはそもそもの身体の造りが違うため、役割分担をすることは効率も良く、嫌な気分にもなりにくく、そういったことも制限するのはどうかなとも思った。（中学生：父親・母親に言われて）
- 荷物を運ぶ場面で男子にのみ声をかけていた。生物学的に男女の筋肉量には違いがあるためそこまで理不尽な判断だとは思わなかった。しかしその分女子にも出来る仕事を見つけて仕事をしている時間に差ができないようにするなどの動きがあった方が良くと思った。（高校生世代：学校の先生）
- 小さい頃から男らしさ女らしさについて言われたことがあるため、特に何も感じなかった。（大学生世代：祖父母・学校の先生に言われて）

質問11 言われたことがある人は、そのときの気持ちを教えてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

自由志向への意思

- 他人に言われたくない。自分の好きな服が着たい。（小学生：地域の人に言われて）
- 別に性別は関係ないと思った。女の子だからといって大胆で上品じゃなくてもいいんじゃないかと思った。（中学生：母親、学校の先生に言われて）
- 男も女も関係ないのになと思った。（高校生世代：学校の先生に言われて）
- 髪型など、性別関係なく自己表現として自由にするべきではないかなと感じた。（大学生世代：学校の先生・友達・仕事やアルバイト先で言われて）

その他

- 女の子なのに、これが好きでいいの？と言われた時、私はこれが好きなの！という自我はしっかりあったものの、「私はほんとにこのままでいいのかな」「女の子っぽくないのかな」と自分に対して不安に思っていた。（高校生世代：祖父母に言われて）
- アルバイトなどで特に重いものは男子、細かい作業は女子というふうに分担され、男子に申し訳なく感じた。（大学生世代：仕事やアルバイト先で）

【男の子・女の子などの性別に関すること】

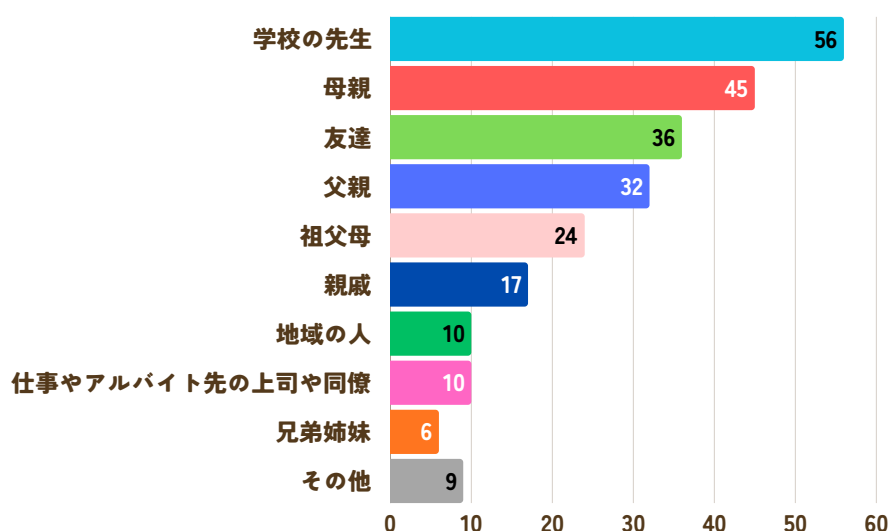
質問12 それは、誰に言われましたか？ 【いくつでも選べます】

- ・ 全体では回答の多い順に「学校の先生」「母親」「友達」でした。
- ・ 高校生世代と大学生世代では「友達」から言われる人の割合は低くなりました。
- ・ 小学生、中学生、高校生世代では「地域の人」からの声かけが一定数ありました。
- ・ 大学生世代では「仕事やアルバイト先の上司・同僚」が上位に入りました。

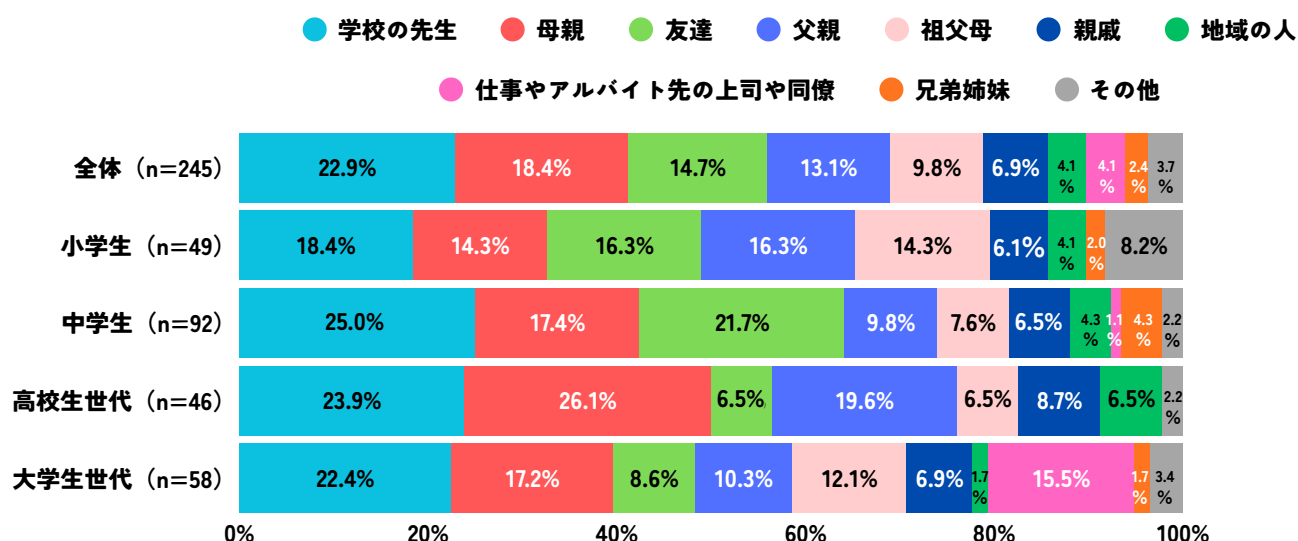
【回答項目】

1.母親 2.父親 3.兄弟姉妹 4.祖父母 5.親戚 6.友達 7.学校の先生 8.地域の人 9.仕事やアルバイト先の上司や同僚 10.その他

■ 全体合計数（n=245）



■ 年次別パーセント



【男の子・女の子などの性別に関すること】

質問13

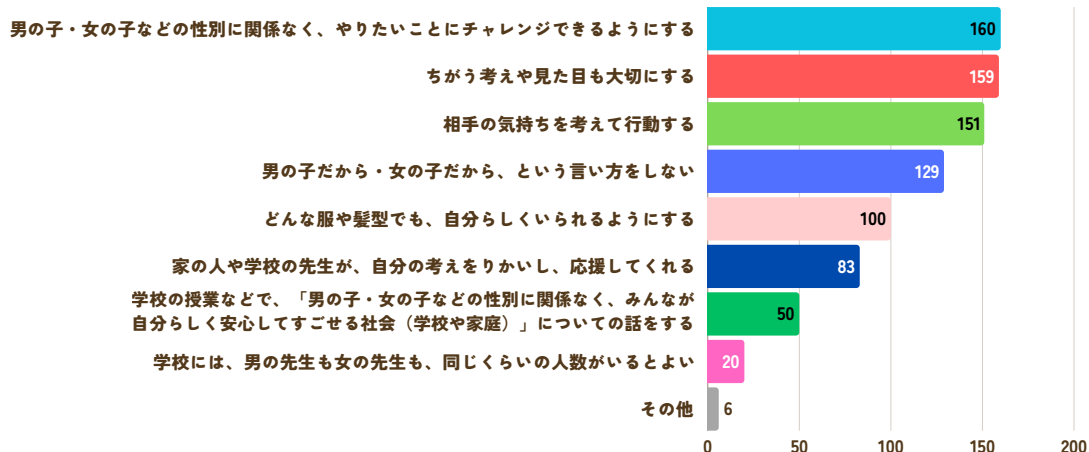
男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、特に大切だと思うことを3つまで選んでください。

- 全体では回答の多い順に「男の子・女の子などの性別に関係なく、やりたいことにチャレンジできるようにする」「ちがう考えや見た目も大切にする」「相手の気持ちを考えて行動する」でした。
- 世代ごとに目立った違いの傾向は少なかったですが、小学生では「男の子だから・女の子だから、という言い方をしない」と答えた人は他の世代より割合がやや高く18.9%でした。

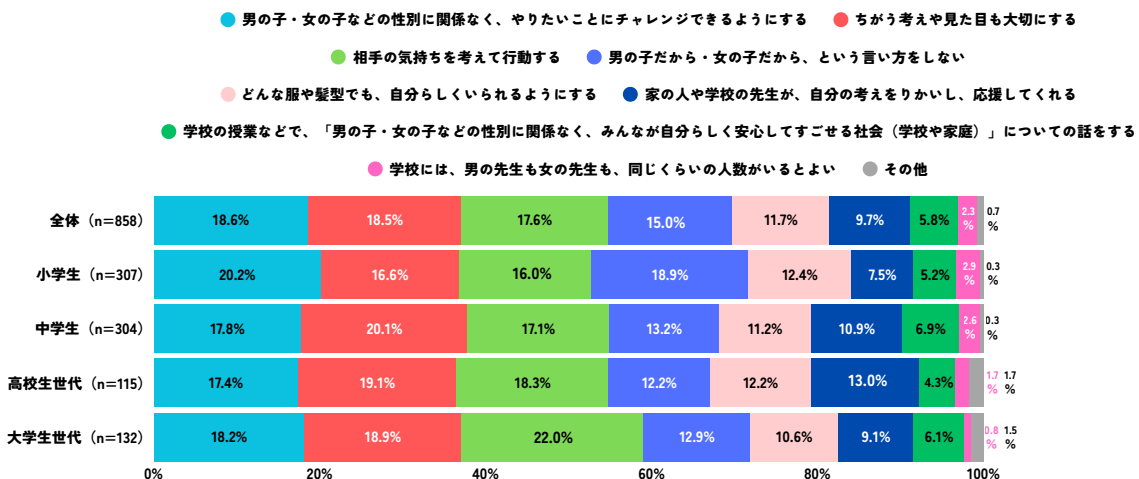
【回答項目】

1.ちがう考えや見た目も大切にする 2.相手の気持ちを考えて行動する 3.男の子だから・女の子だから、という言い方をしない 4.どんな服や髪型でも、自分らしくいられるようにする 5.男の子・女の子などの性別に関係なく、やりたいことにチャレンジできるようにする 6.家の人や学校の先生が、自分の考えをりかいし、応援してくれる 7.学校には、男の先生も女の先生も、同じくらいの人数がいるとよい 8.学校の授業などで、「男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（学校や家庭）」についての話をする 9.その他

■ 全体合計数（n=858）



■ 年次別パーセント



【男の子・女の子などの性別に関すること】

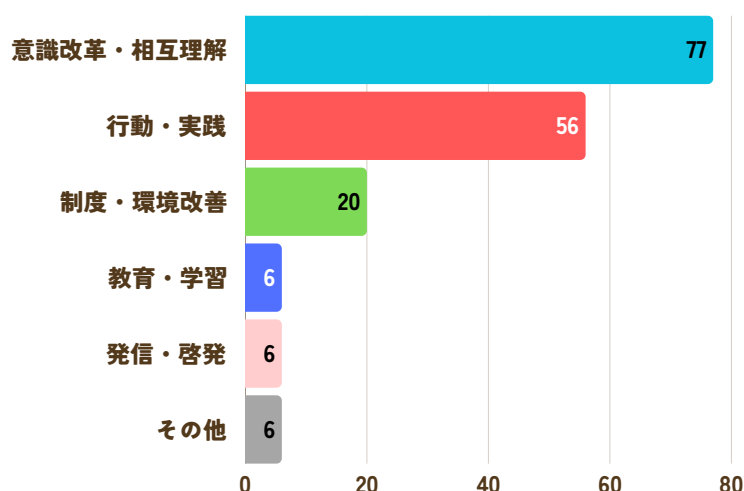
質問14

男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、自分でできそうなことや、みんなでできることがあれば、自由に書いてください。

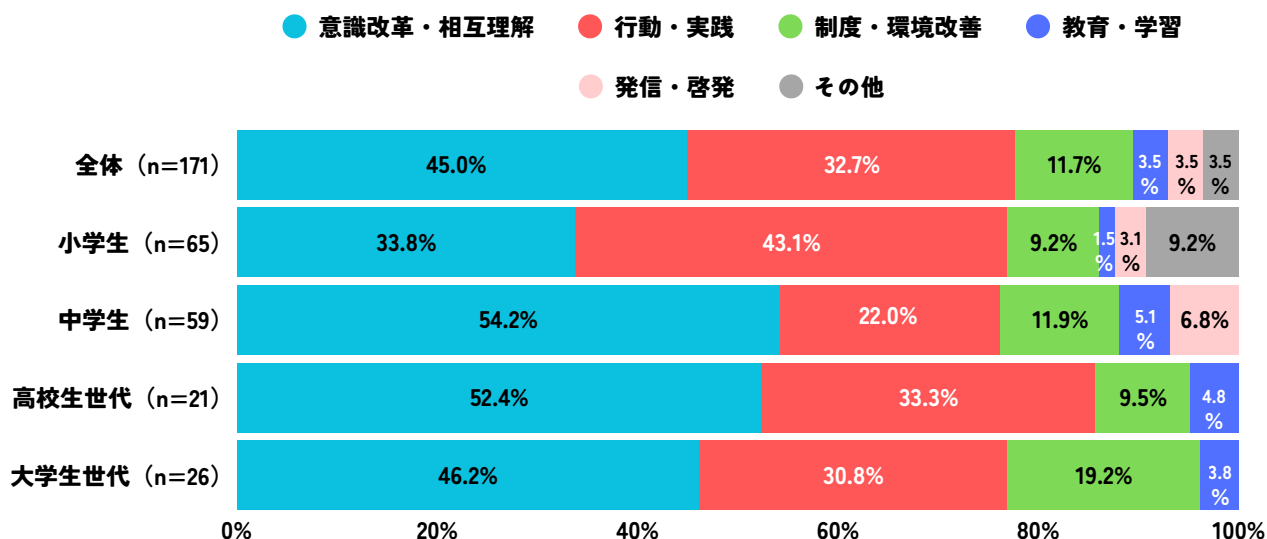
200字以内

- ・「意識改革・相互理解」「行動・実践」に関するコメントがとて多く、コメントの種類別割合の全体では約8割（77.7%）を占めました。
- ・小学生の自由記述では「行動・実践（相手の気持ちを考える、悪口を言わないなど）」に関するコメントが多く見られました。
- ・中学生、高校生世代では「意識改革・相互理解（多様性を理解する、偏見に気づく・直すなど）」に関するコメントが多く半数を占めました。
- ・大学生世代では、「制度・環境改善（法や環境の整備など）」へのコメントが他の世代よりも多くあげられました。

■ コメントの全体合計数（n=171）



■ コメントの種類別パーセント（年次別）



【男の子・女の子などの性別に関すること】

質問14

男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、自分でできそうなことや、みんなでできることがあれば、自由に書いてください。200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

意識改革・相互理解

- 相手の気持ちを考えて発言、行動をすると良い。（小学生）
- ちがう考えや見た目も大切にする、相手の気持ちを考えて行動する、男の子だから・女の子だから、という言い方をしない。（小学生）
- 自分と違う考えも受け入れ、否定しない。（中学生）
- 多様性というものをクラスや 家庭で共有する。（中学生）
- 周りの人と違うことに劣等感を抱かず、人それぞれの個性があるのだと、自信をもつ。また、周りの人も見た目が異なるからと言って、いつもと違う反応をしたり、いつもと違うように接するなどといったことをしない。（高校生世代）
- 性別ではなく、人それぞれを個性として互いに尊重して違いを非難するのではなく、違う部分を認めて合って理解していくことが自分らしく生きやすい社会に必要なだと考える。（大学生世代）

行動・実践

- 男女関係なく、自分がやりたい事をやる。（小学生）
- 相手の性別や、体や、性格の特徴を言わないようにする。（小学生）
- 男だから女だからという言い方をしない、それぞれの個性を尊重する。（中学生）
- 誰かが性別のことで何か言っていたらとめる。（中学生）
- 自分が無意識のうちに差別的な発言をしないように注意する。相手を一人の人間として尊重し、一人一人の個性を受け入れる。（高校生世代）
- なにかをグループ分けする際、「男の子」「女の子」という区切りを付けるのではなく、「〇〇が得意な人！」「〇〇が苦手な人」というような性別の分け方をすることで、男女というレッテルが無くなるのではないかなと思う。（大学生世代）

教育・学習

- ジェンダーに関係する本を読んでみる。（小学生）
- 性別に関係する授業を行う。（道徳心など、そういったことではなく、性別に関する知識を与える）（中学生）
- 多様な社会についてたくさん学び、色々知ること。（高校生世代）
- 性別ごとの特徴（男子の方が筋肉量がつきやすい）と、性別ごとについたイメージ(男の子は青色、かっこいいもの)をわけて考えて、話し合う場を事例を通して考える。（大学生世代）

【男の子・女の子などの性別に関すること】

質問14

男の子・女の子などの性別に関係なく、みんなが自分らしく安心してすごせる社会（「学校」や「家庭」など）にするために、自分でできそうなことや、みんなでできることがあれば、自由に書いてください。200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

制度・環境

- 学校の男子は短髪。のような校則は変だと思う。髪の高い男子がいてもいいし、スカートはいてもいい。女子が坊主でもズボンでもいい。それを決めるのは学校ではないと思う。(小学生)
- 校則の服装・髪型の基準が男女で違うので、周りに迷惑をかけなければ性別関係なく同じにすればいいと思う。(中学生)
- 全員定期的に学校の健康診断とかで精神科(?)とかにもかかる制度を作るといいと思う。どんな自分でいたいのか、自分はどんなヒトなのか、という気持ちに自分に向き合う、見つける、確信をもつ、良い言い方が見つからないがそういうのにはお医者さんの診断や言葉が必要だと思う。他にも障害でも違っても性別でもなんでも自分の特性とかはいつか悩む人が多いのでそういう機会があった方がいいと思う。(高校生世代)
- 日本は性別役割分業意識も高いし、同性婚や同性カップルにも寛容ではありません。法の整備と同時に、生物学的には仕方がない面は良いとして合理性を求めて男女と分けることを幼い頃からやめていく必要があります。(大学生世代)

発信・啓発

- 差別防止ポスター。(小学生)
- 学校や、ニュースなど、広範囲な人に広めること。(小学生)
- チラシやSNSで知らせる。(中学生)
- 自分はこう思っているということを発表したり、それが恥ずかしい人は、文章にまとめてみんなに知ってもらう。家庭では、自分の気持ちをしっかり話し合うことが大切だと思います。(中学生)
- 理解を広げるために、ポスターやチラシなどで宣伝して、イベントを開き、発表したりしてみる。(中学生)

【働くことについて】

質問15 群馬県内で働くとしたら、次の選択肢のうち、何に魅力を感じますか？（1位～3位を選んでください）

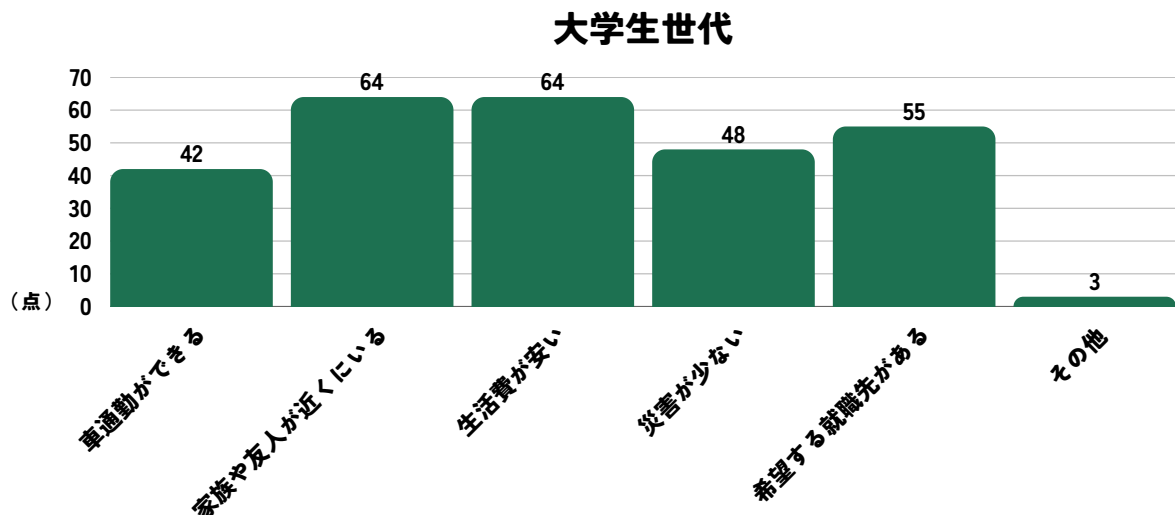
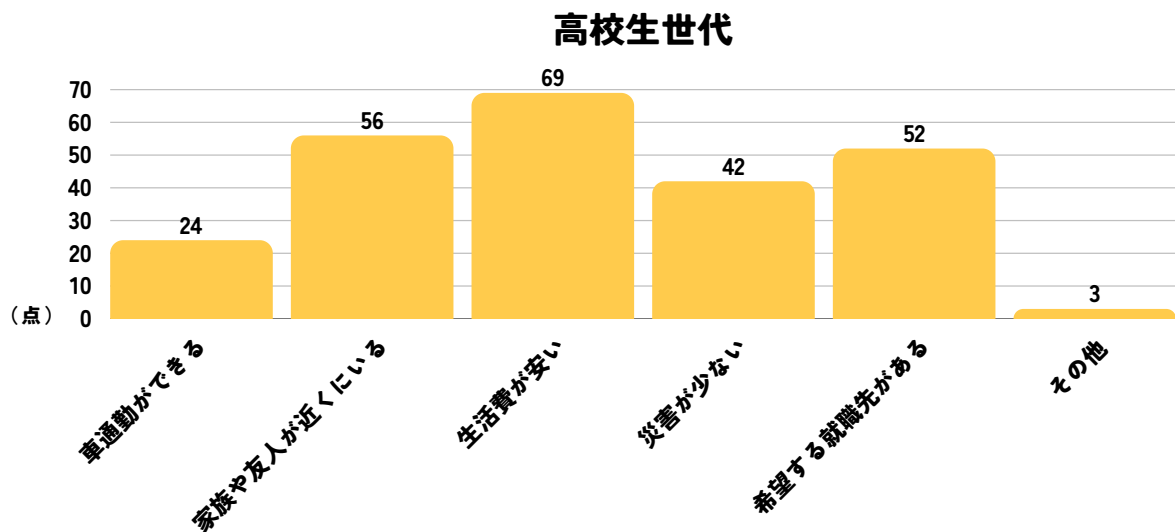
※この質問では集計にあたり、1位の回答を3点、2位の回答を2点、3位の回答を1点として合計得点を算出しています。

- ・ 高校生世代では得点の高い順に「生活費が安い」「家族や友人が近くにいる」「希望する就職先がある」でした。
- ・ 大学生世代では得点の高い順に「家族や友人が近くにいる」と「生活費が安い」が同数、「希望する就職先がある」「災害が少ない」でした。

【回答項目】

1. 車通勤ができる 2. 家族や友人が近くにいる 3. 生活費が安い 4. 災害が少ない 5. 希望する就職先がある 6. その他

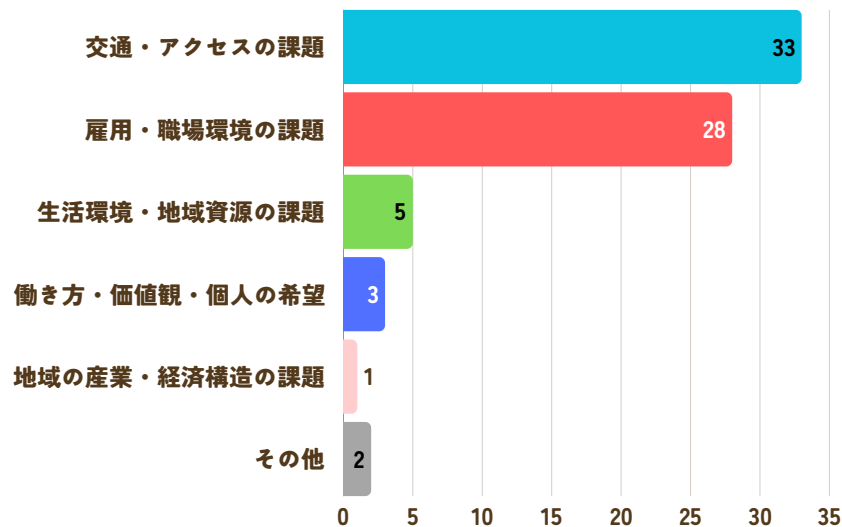
※1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点として合計得点を算出



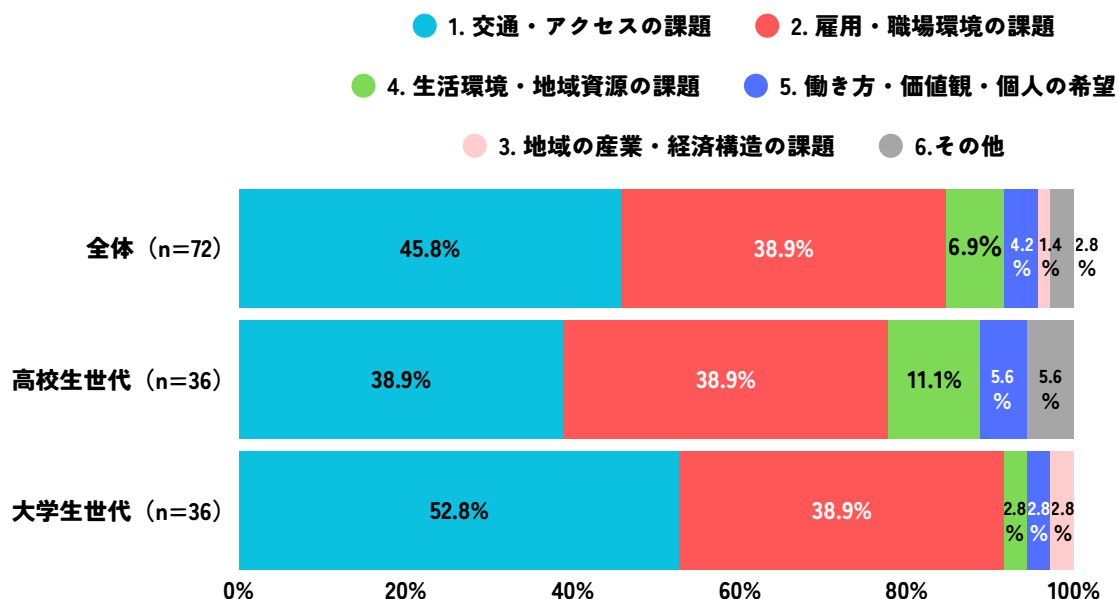
質問16 群馬県内で働く場合に、課題だと思うことは何ですか？ 200字以内

- ・「車がないと移動できない」「電車・バスの本数が少ない」「通勤渋滞」「都市部へのアクセスの悪さ」など「交通・アクセスの課題」に関するコメントが多くあり、コメントの種類別割合では全体の45.8%を占めました。
- ・「賃金の低さ」「職種の少なさ」「大手企業が少ない」「福利厚生格差」などの「雇用・職場環境」に関するコメントも多く、全体の38.9%を占めました。

■ コメントの全体合計数（n=72）



■ コメントの種類別パーセント（年次別）



質問16 群馬県内で働く場合に、課題だと思うことは何ですか？ 200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

交通・アクセスの課題

- 公共交通機関が少なく、車がないと生活しにくい。（高校生世代）
- バスや電車の本数が少なく、1時間近く待たなくてはいけないことがあること。（高校生世代）
- 車が運転できなくてもバスがもう少し本数が多いと通勤できると思いました。（高校生世代）
- 群馬では車での移動が主流なので、就職する際に車を買うとなると費用に少し困る。（大学生世代）
- 車がないと勤務先まで行きにくい。車があっても交通渋滞が激しい。（大学生世代）
- バスなどの値段が高く、交通機関のアクセスも不十分なこと。（大学生世代）

雇用・職場環境の課題

- 自分が働きたい職場がない。（高校生世代）
- 給料が低そう。（高校生世代）
- 職業の選択肢が少ない気がする。製造工場は多くあるものの、接客業の選択肢が非常に少ない。（高校生世代）
- 大手企業が少なく、地元企業が多いので、高い収入を求めるのは難しい。（大学生世代）
- 基本給が安いこと、大学院卒と学部卒で給料が同じな会社が多いこと。（大学生世代）

生活環境・地域資源の課題

- 気温が高い、観光スポットや、娯楽施設が少ない。（高校生世代）
- 夏の暑さ対策。（大学生世代）

働き方・価値観・個人の希望

- 自分の知り合いが多すぎること。私の場合、社会に出るからには自分の知らない人や世界の中で過ごしたいという希望があるため、群馬県内では知り合いがたくさんいてなんだか窮屈に感じてしまうから。（高校生世代）

地域の産業・経済構造の課題

- ぐんまはかなり働きやすい部類だと思っていますが課題は群馬で働いて欲しい人材が東京などの都会に行ってしまう事も多く、立地が良いからこそ群馬の人材が減っていること。（大学生世代）

【働くことについて】

質問17 群馬県内に増えて欲しい仕事はありますか？ (1位～3位を選んでください)

※この質問では集計にあたり、1位の回答を3点、2位の回答を2点、3位の回答を1点として合計得点を算出しています。

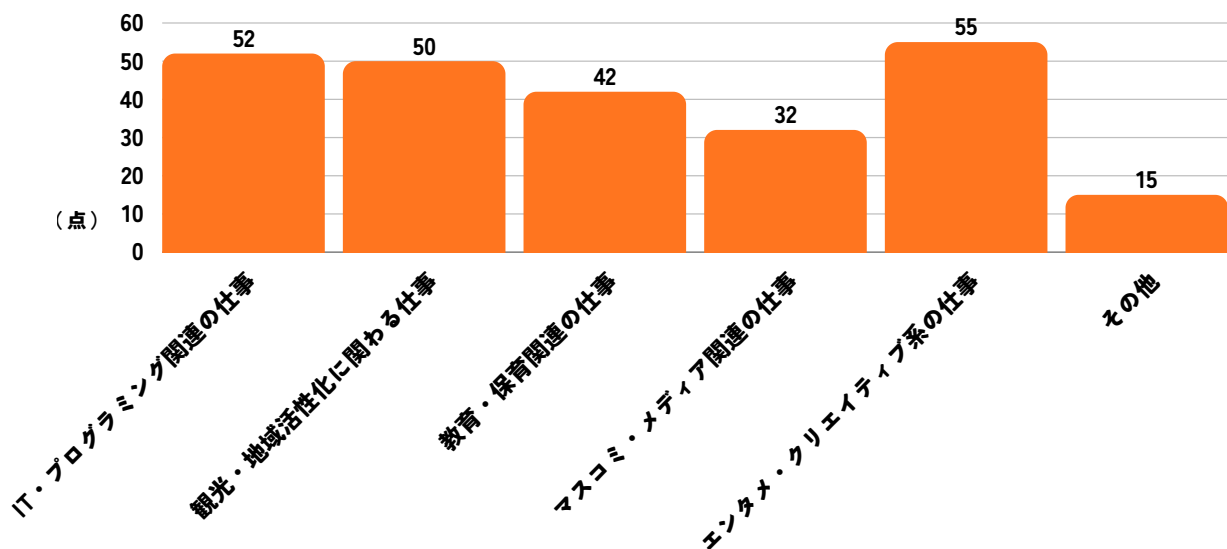
- ・ 高校生世代では得点の高い順に「エンタメ・クリエイティブ系の仕事」「IT・プログラミング関連の仕事」「観光・地域活性化に関わる仕事」でした。
- ・ 大学生世代では得点の高い順に「観光・地域活性化に関わる仕事」「教育・保育関連の仕事」「エンタメ・クリエイティブ系の仕事」でした。

【回答項目】

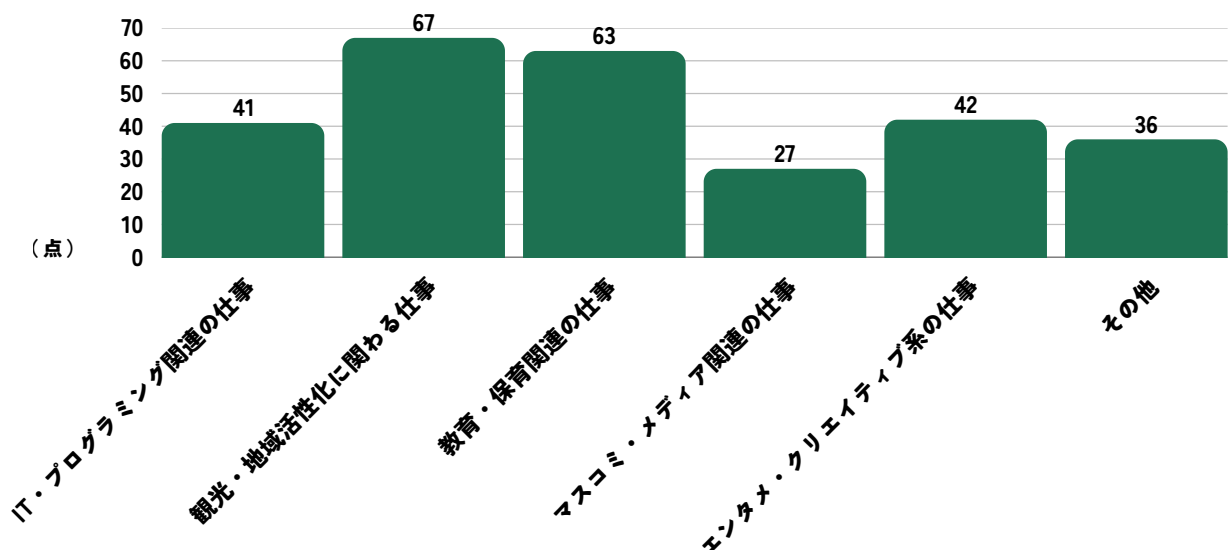
1. IT・プログラミング関連の仕事 2. 観光・地域活性化に関わる仕事 3. 教育・保育関連の仕事
4. マスコミ・メディア関連の仕事 5. エンタメ・クリエイティブ系の仕事 6. その他

※1位=3点、2位=2点、3位=1点として合計得点を算出

高校生世代



大学生世代



【働くことについて】

質問18 どのような職場環境であれば、群馬県内に就職したいと思いますか？ (1位～3位を選んでください)

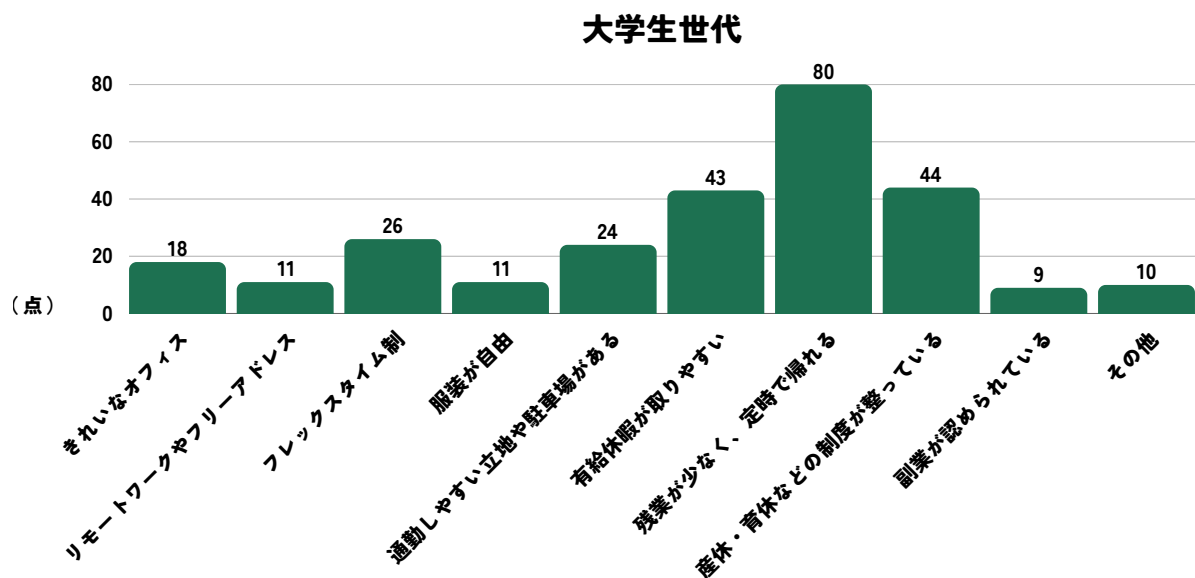
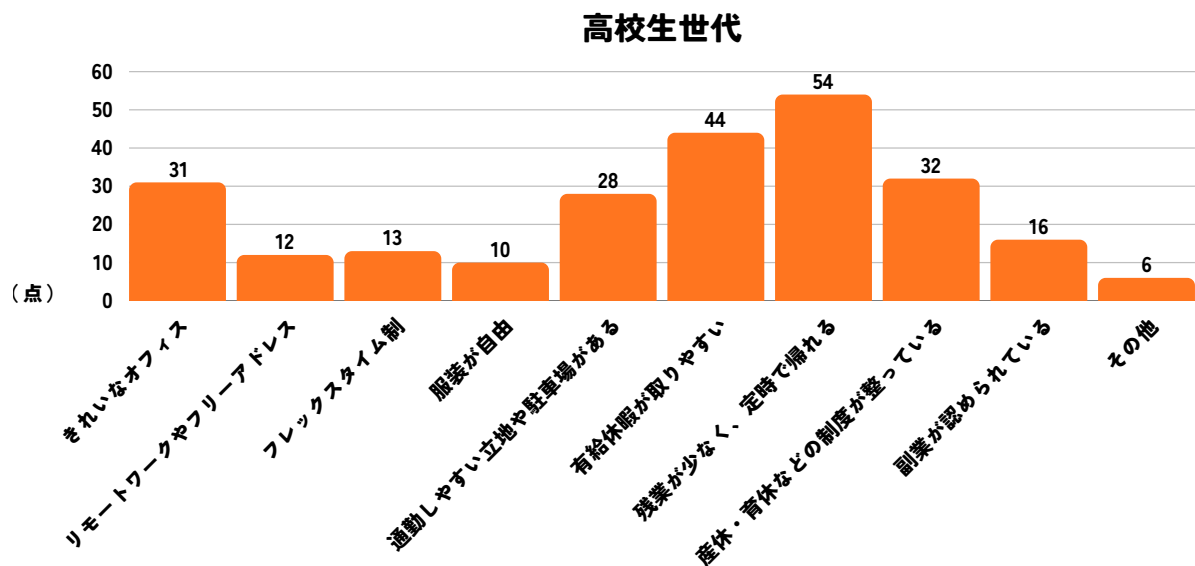
※この質問では集計にあたり、1位の回答を3点、2位の回答を2点、3位の回答を1点として合計得点を算出しています。

- ・ 高校生世代は多い順に「残業が少なく、定時に帰れる」「有給休暇が取りやすい」「産休・育休などの制度が整っている」でした。
- ・ 大学生世代は多い順に「残業が少なく、定時に帰れる」「産休・育休などの制度が整っている」「有給休暇が取りやすい」でした。

【回答項目】

1.きれいなオフィス 2.リモートワークやフリーアドレス 3.フレックスタイム制 4.服装が自由 5.通勤しやすい立地や駐車場がある
6.有給休暇が取りやすい 7.残業が少なく、定時に帰れる 8.産休・育休などの制度が整っている 9.副業が認められている 10.その他

※1位＝3点、2位＝2点、3位＝1点として合計得点を算出

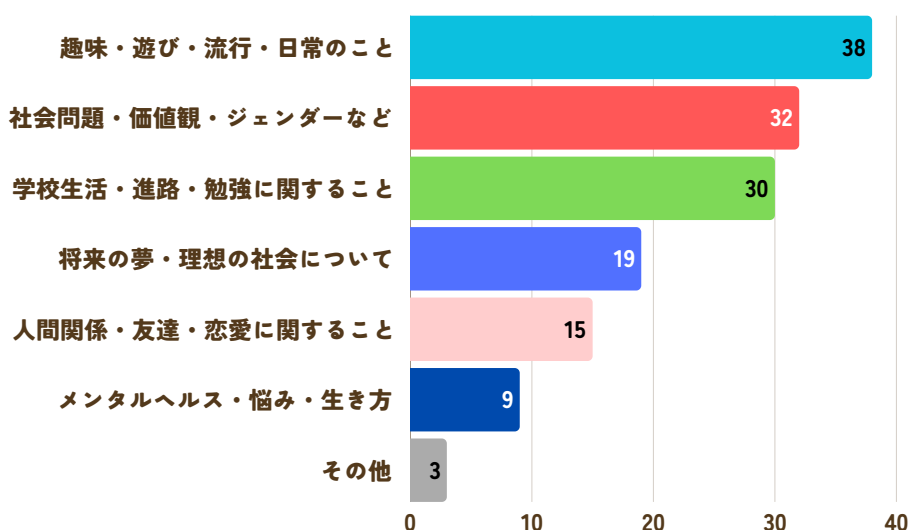


質問19 年齢の近い子ども・若者同士で話し合ってみたいことがあれば、自由に書いてください。

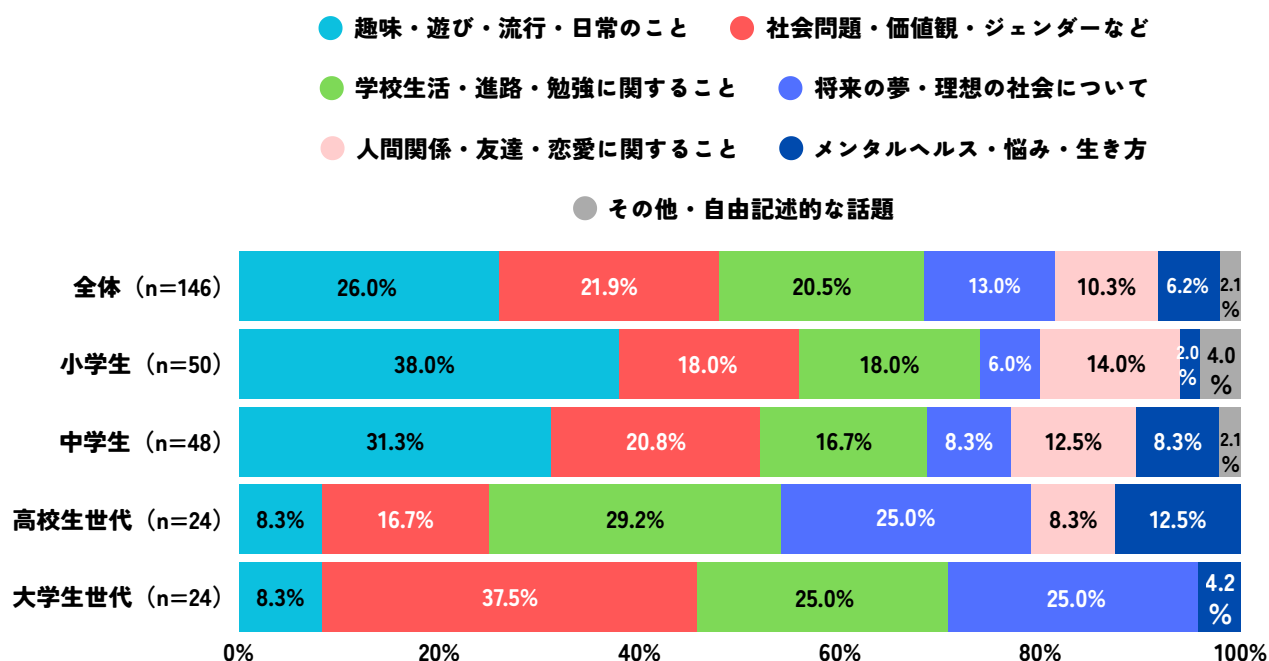
200字以内

- ・ 全体ではコメント数の多い順に「趣味・遊び・流行・日常」「社会問題・価値観・ジェンダー」「学校生活・進路・勉強」でした。アンケートに関連して男女の違いや、働き方へのコメントが多くありました。
- ・ 小学生と中学生は「趣味・遊び・流行・日常」に関するコメントの割合が一番高くありました。
- ・ 高校生世代は「学校生活・進路・勉強」に関するコメントの割合が一番高く29.2%でした。
- ・ 大学生世代は「社会問題・価値観・ジェンダー」に関するコメントの割合が一番高く37.5%でした。

■ コメントの全体合計数（n=146）



■ コメントの種類別パーセント（年次別）



【みんなで話してみたいこと・きいてみたいこと】

質問19 年齢の近い子ども・若者同士で話し合ってみたいことがあれば、自由に書いてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

趣味・遊び・流行・日常のこと

- ・ 休みの日、普段どんなことしているか。(小学生)
- ・ ゲームの話、みんなと合う話ができるから。テストの話、他の学校の子と共通の話ができるから(小学生)
- ・ 趣味、好きなこと。(中学生)
- ・ 同じ趣味の人がどれだけいるか知りたい。(中学生)
- ・ 家ですること以外の遊び方。群馬県内のおもしろスポットなど、アウトドアな遊びのすすめなどをもっと共有したい。(高校生世代)
- ・ お金について、どんなやりくりで生活しているのか。(大学生世代)

社会問題・価値観・ジェンダーなど

- ・ みんなは性別と言う概念をなくす方がいいと思う？(小学生)
- ・ 犯罪や差別を無くす為には、どうするかを考えたい。(小学生)
- ・ 普段はしないから、社会や政治の話をしたら楽しそうだと思います。また、悩みも話し合えるといいです。(中学生)
- ・ 健常者と病気や障害を持っている人との関わり方や理解。どうしたらみんなが生活しやすいか。僕は障害があるので、皆にどんなことが大変なのかを知ってほしい。(中学生)
- ・ 女子校と男子校の存在意義。(高校生世代)
- ・ LGBTQについて。(高校生世代)
- ・ どうしたら群馬と東京でできる経験の差を無くせるかアイデアを出し合ってみたい。(大学生世代)
- ・ 群馬県の地域偏在について。(娯楽や会社、交通の便についての地域ごとの偏り)(大学生世代)

学校生活・進路・勉強に関すること

- ・ 得意な教科や苦手な教科。(小学生)
- ・ 夏休みの宿題どんな感じか。課題の内容が学校ごとに違うと思うから聞いてみたい。(中学生)
- ・ 皆さんの学校の先生はどのような感じなのですか？(中学生)
- ・ 勉強環境について、群馬県内の自習室や図書館など、どこで勉強しているのか。(高校生世代)
- ・ 進路の決め方について。(高校生世代)
- ・ 中学や高校の校則について。髪型や服装の制限は本当に必要なのか、男女間での違いを少なくすることは出来ないのか話し合ってみたい。(大学生世代)
- ・ 学校で学ぶ5教科、9教科を一律みんなが学ぶことについてどう思う？(大学生世代)

将来の夢・ライフデザイン

- ・ 将来の夢や学校でのできごと（悩みや楽しいこと）について（話してみたい）。(小学生)
- ・ 今の日本を考えると、私たちは将来安心して過ごすことができないかも知れないので、次に未来を作り上げていく私達が何ができるのかを話し合いたい。(中学生)
- ・ 将来の職業に迷っているので、他の人がどの様な職業につきたいか参考にしたいです。(高校生世代)
- ・ ぐんまで就職したいか。群馬から出るとしたら戻ってきたいと思えるか。(大学生世代)
- ・ 将来一人暮らしをする予定があるか、いつ頃なのか、車を買う際、親の支援などを受けるか、費用はどのように分割するか。(大学生世代)

質問19 年齢の近いこども・若者同士で話し合ってみたいことがあれば、自由に書いてください。

200字以内

人間関係・友達・恋愛に関すること

- Tik Tokとかの内容、友達関係のこと？（小学生）
- 正直に言うと、修学旅行とか恋愛話、勉強、推しとかについて話したいです。（小学生）
- 積極的な行動をすると皆から厳しい目で見られることがある。そういう時の対応をききたい。（小学生）
- 友達関係について、部活動などでの先輩との関わり方、先生との関わり方など、友達関係について話してみたい。（中学生）
- 学校で異性とどう接しているか。（中学生）
- 異性と仲良くしたらすぐいじられるの？（中学生）
- 周りの人との人間関係やコミュニケーションについて。（高校生世代）

メンタルヘルス・悩み・生き方

- 仲間外れにされた。（小学生）
- 学校の勉強や部活、習い事があって忙しくて時々サボりたくなってしまうけど、みんなどうやって頑張っているのか聞いてみたいです。（中学生）
- 私は中学3年生で受験生だから、同じ目標の人と話し合い、メンタルを高めたり、モチベーションを上げていきたい。（中学生）
- 夢と現実の乖離はないか、生きやすさを語りたいです。（高校生世代）
- 多様性と言われる時代ですが、今なお「男なんだから」「女なんだから」と性別を理由にとやかく言われることがあると思います。私はこれらのことを言われて傷つきました。言われた際にどう対応すればいいのか、みなさんの話を聞きたいです。（高校生世代）
- なんで周りの事をそんなに気にするのか？（大学生世代）

その他

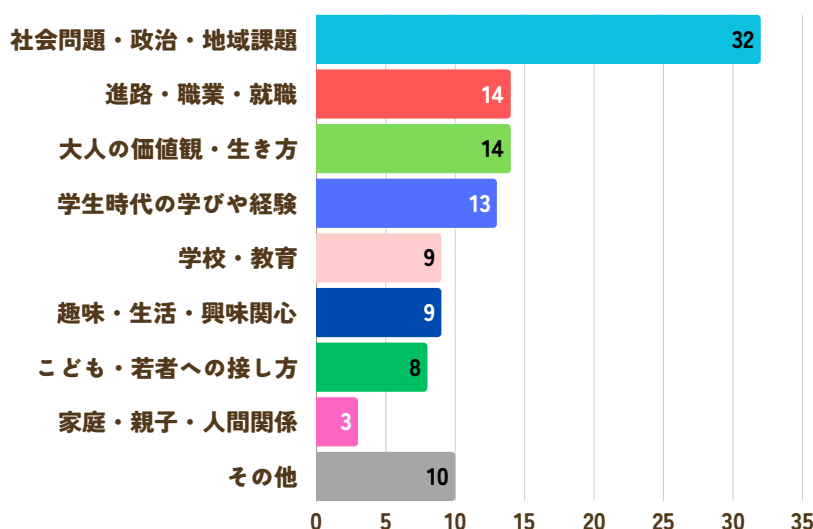
- 大人についていろいろ話したい。（小学生）

質問20 大人にきいてみたいことや、伝えたい意見があれば、自由に書いてください。

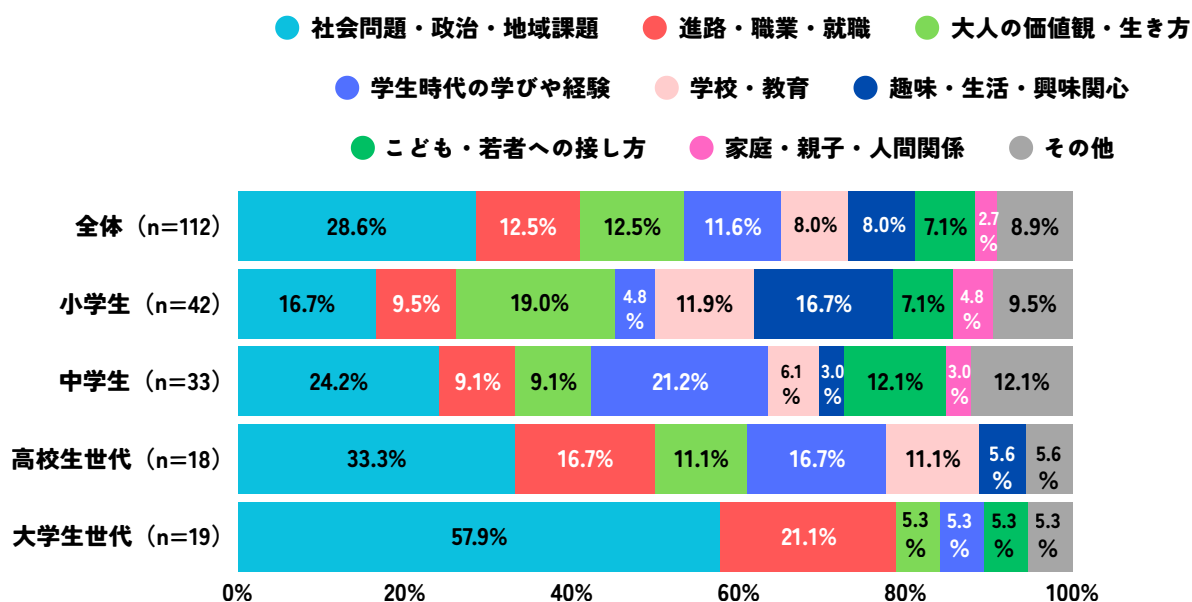
200字以内

- ・ 全体では「社会・政治・地域」に関するコメントが一番多く、世代が上がるにつれて割合も高くなる結果となりました。
- ・ 小学生は「大人の価値観・生き方」が一番多く、次に「社会問題・政治・地域課題」と「趣味・生活・興味関心」が多い結果となりました。
- ・ 中学生は多い順に「社会問題・政治・地域課題」「学生時代の学びや経験」「こども・若者への接し方」でした。
- ・ 高校生世代は「社会問題・政治・地域課題」が一番多く、次に「進路・職業・就職」と「学生時代の学びや経験」が多い結果となりました。
- ・ 大学生世代は「社会問題・政治・地域課題」の割合がとても高く57.9%でした。

■ コメントの全体合计数 (n=112)



■ コメントの種類別パーセント (年次別)



質問20 大人にきいてみたいことや、伝えたい意見があれば、自由に書いてください。

200字以内

～具体的なコメント（抜粋）～

社会問題・政治・地域課題

- 戦争のない世界にしてほしい。(小学生)
- もっと子ども達が楽しく遊べる場所を作ってほしいです。(小学生)
- 小さい頃に女の子だからや男の子だからと言われた覚えはあるか。(中学生)
- 若者の政治参加について問題になっていますが、私たちは政治についてどんな考え方をしていけばいいのでしょうか。様々な情報が飛び交っていて、何を見ればいいのか、何が「社会にとって良いこと」なのか、わかりません。(高校生世代)
- 公共交通が不便なことを「車社会だから」と片付けるのではなく、便利にするための努力をしてほしい。車に乗らずに生活をして、子ども・孫の世代のために公共交通を残してほしい。そのためには、今、公共交通を使わなければならない。(大学生世代)

進路・職業・就職

- しごとにやりがいを感じているか。(小学生)
- 勉強や進学、仕事について、どんなふうになれば、がんばって目標を達成できるか。(小学生)
- 将来の就職が不安なので、取っておいた方がいい資格はなんなのかとか社会はどれくらい厳しいのか。(中学生)
- なぜ今その職についているのか。(中学生)
- 進路や職業をどうやって決めたか、希望進路と実際の進路が違ったときどうしたのかを聞きたい。(高校生世代)
- 過去の自分が描いた理想像になれたか。(高校生世代)
- おすすめの本、就職するときに何が一番大事か。(大学生世代)
- 会社を長く勤めるには？(大学生世代)

大人の価値観・生き方

- 大人なのに交通ルールを破ったり、ゴミ出しのルールをなぜ破ったりするのか。いろいろなハラスメントがなくなるのはどうしてだろう。(小学生)
- 子供に自由があるとしたら、大人も子供の様に自由に生きて欲しい。(小学生)
- 今の大人は今の子供や20代に何を感じているのか。(中学生)
- 大人になったら夢がかわってしまうのですか？(中学生)
- 子育てと介護の両立はどのように行なっているのか、どのように行うつもりなのか。(高校生世代)
- 大人になっても勉強することは必要なのか。(高校生世代)

質問20 大人にきいてみたいことや、伝えたい意見があれば、自由に書いてください。

200字以内

学生時代の学びや経験

- 学校で勉強したことが役に立ったか、勉強しておいてよかったと思ったか。(小学生)
- 色々な大人に、子供の頃にしておいた方がいいことを聞いてみたいです。(中学生)
- 今学んだことが社会で直接的に活かされることはあるのかどうか？(中学生)
- 社会に出るまでに身につけること。(高校生世代)
- 社会人になる前の学生のうちにしておくべきことや、しておけばよかったなと思うこと。(大学生世代)

学校・教育

- 僕は学校にくるのが楽しくなるような企画をしたい。例えば、群馬県民の日は群馬県内の学校ならどこかの学校で授業を受けてもいいとか、学校対抗でスポーツイベントをすとか、学校のみんなやクラスで力を合わせて何かをすることで団結力が生まれて、不登校やいじめがなくなると思います。(小学生)
- 学校の設備が整っていないと感じる。(体育館の雨漏りなど) 全ての体育館に冷房をつけてほしい。夏場は46度以上の中で練習することもあり、危険だと思う。(高校生世代)

趣味・生活・興味関心

- なんで子供は早く寝ないといけないの？(小学生)
- なぜ、子供のうちはLINEや携帯?が危ないのかなど。(小学生)
- 今、楽しんでいることや何か熱中していることはありますか？自分の考えの参考にしたいです！(高校生世代)

こども・若者への接し方

- 大人は大人の話が子供には分からなかったり、聞こえてないと思われがちだけど、全部聞こえているし内容もわかっているということ。(小学生)
- 近所のおばさんが、僕たちがやっていない事を学校に連絡したりするのはおかしいと思います。こどもだから気持ちがないわけではないです。(小学生)
- なんで大人の言うことを子どもは聞かないといけないのですか。(中学生)
- 子供だからと、上からものを言う大人がいるが、きちんと話を聞いてほしい。決めつけをやめてほしい。(中学生)
- 励ますときに、「まだ若いから大丈夫」と言わないでほしい。(大学生世代)

家庭・親子・人間関係

- おこづかいをふやしてほしいです。(小学生)
- 人間関係の上手いやり方を教えて欲しいです。伝えたいことと言えば、子供に対する期待を少し減らしてほしいです。子供に、期待という不安を減らしてあげてほしいです。(中学生)

その他

- 去年に続いて今年もこのアンケートに参加できて嬉しいです。今年もたくさんの意見をこの群馬こどもモニターに伝えたいと思います。(小学生)

考えるヒント（専門家の先生より）



奥田 雄一郎 先生
(共愛学園前橋国際大学教授)



田中 友里 さん
(親子のための保健室・
群馬子どもの権利委員会)

違いから、何が見える？
どんな新しいことを創っていけるかな？

みなさん、こんにちは。

今回のこのアンケート結果から、みなさんはどんなことを感じたでしょうか？あなたが思ったとおりだったでしょうか？あるいは、あなたの予想と違ってびっくりしたことがあったでしょうか？

小学生や中学生の皆さんから見ると、自分たちが成長して、これからなっていく高校生や大学生がこんなふうに考えているんだと感じたことがあったかもしれませんし、逆に高校生や大学生の皆さんからは、以前は自分たちがそうであった小学生や中学生もこんなことを考えているんだと新たな発見もあったかもしれません。

そうした、自分と異なる年齢から、今回のアンケート結果を見ても面白いかもかもしれませんね。

みんながこれから生きていくこの社会では、1人1人に違った意見があってもいいのです。大切なのは「みんな違うね」で終わりにしてしまうのではなく、その違いからどんなことを互いに学び合えるのか、どんな新しいことを創っていけるのかだと考えています。

「ありのまま」を大切にしながら
気持ちを話しあい、理解の輪を広げよう

とても興味深く読ませてもらいました。

「子どもの権利条約」や「こども基本法」はこどもたちがより良く成長するために、また大人にとってもこどもたちへの対応の指針としてぜひ今後も広く周知されることを期待します。

また、これらを「インターネット」から知ったという方が多いことに驚きました。こどもたちの情報を取得するセンサーの高さはさすがですね！

「男らしさ」「女らしさ」は、私もこどもの頃言われて嫌だったことを思い出しました。このようなこども側の気持ちが理解されると段々と無くなっていくのかもしれませんが。

今、このアンケートを1人で読んでいる人も親子で読んでいる人もそれぞれの思ったことを話し合ってもらいたいと思います。

こどもの意見に耳を傾け、話し合う、ということが大切です。こどもの望み通りにいかないことも、答えが出ないことも、あっていいのです。大切なことは「ありのままのこどもの思いを受けとめる」ということです。ぜひ試してみてください。

アンケートのご協力ありがとうございました。
みなさんの声は今後の群馬県の取り組みに生かしていきます。

群馬県 生活こども課